

# 6

## こんな時には（〔発注図を開くガイド〕終了後）

ここでは〔発注図を開くガイド〕を操作し終わった後（「縮尺」を設定し終わった後）によくある問い合わせ内容とその対処方法について説明します。

## 6-1 距離や座標の確認するには

「縮尺」の情報を設定後に、任意箇所の点間距離や座標値を確認する方法について説明します。

- (1) 点間距離の確認
- (2) 座標値の確認

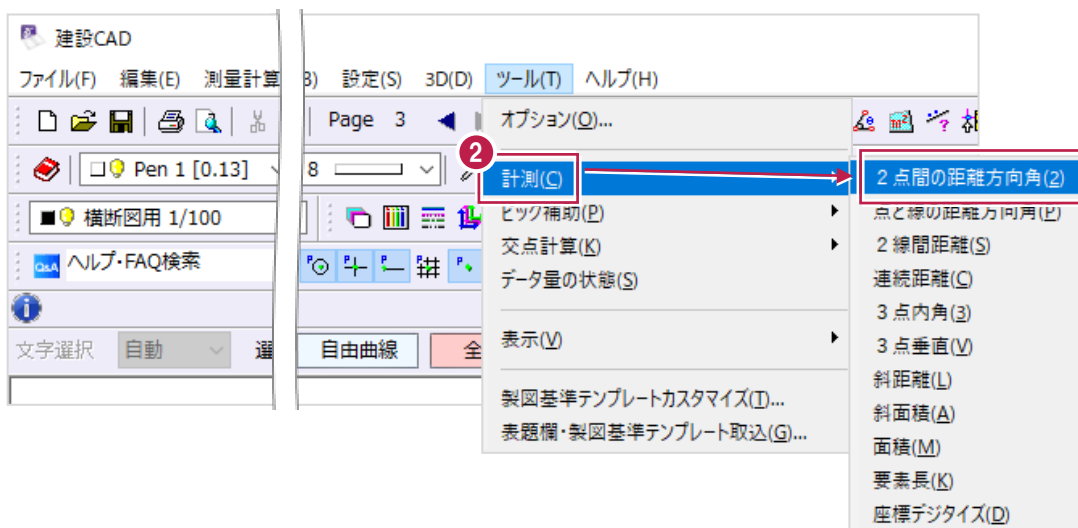
### (1) 点間距離の確認

ここでは、「計測」機能を利用した確認方法を説明します。

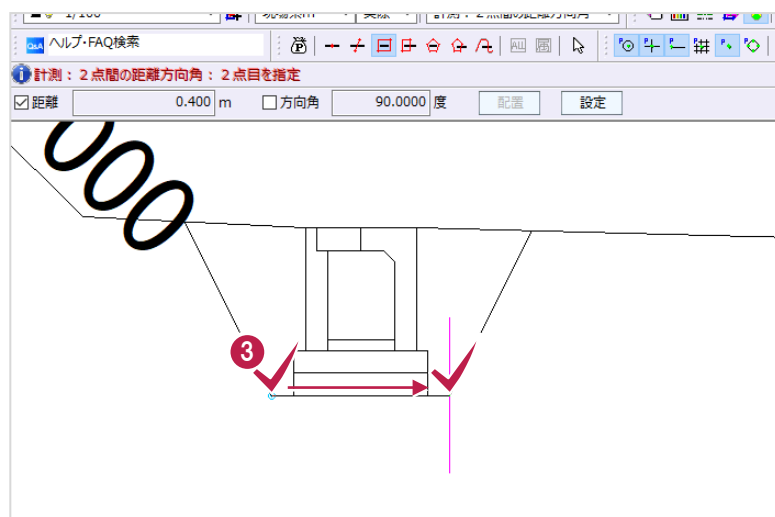
- 1 画面上の「ツール」をクリックします。

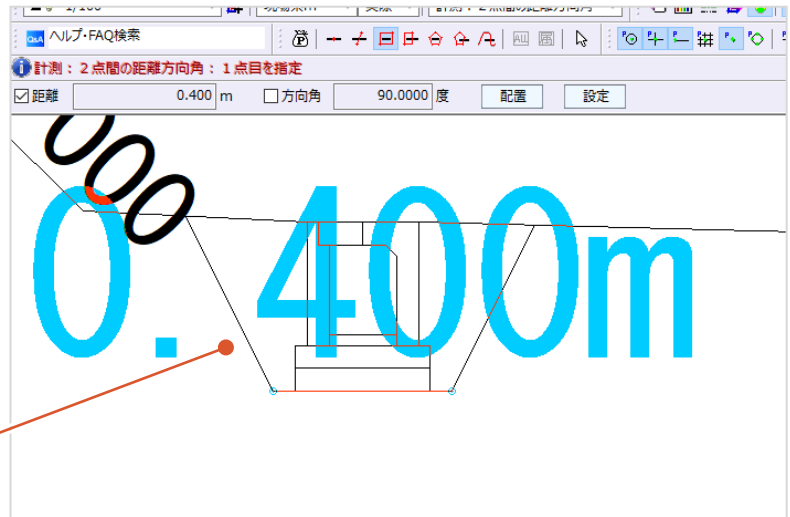


- 2 表示されるメニューの「計測」、[2点間の距離方向角]を順にクリックします。



- 3 確認したい箇所の両端を順にクリックします。  
クリック後、点間距離が表示されます。



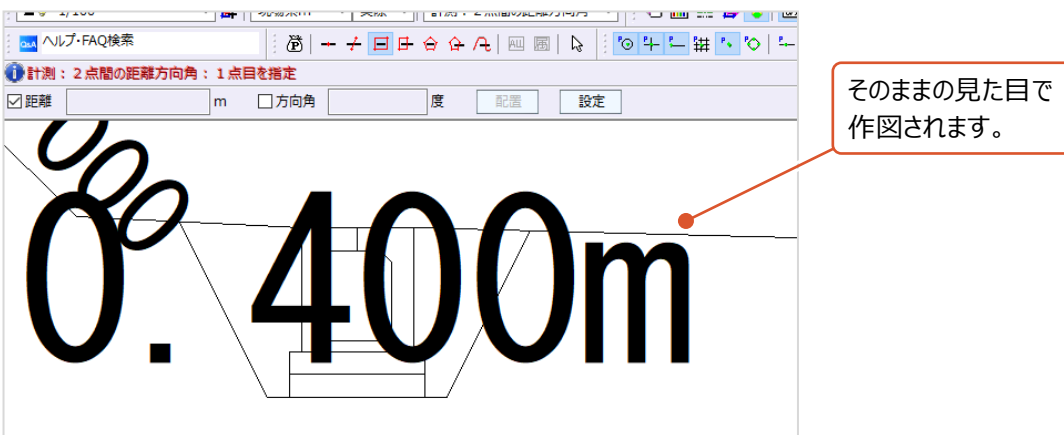
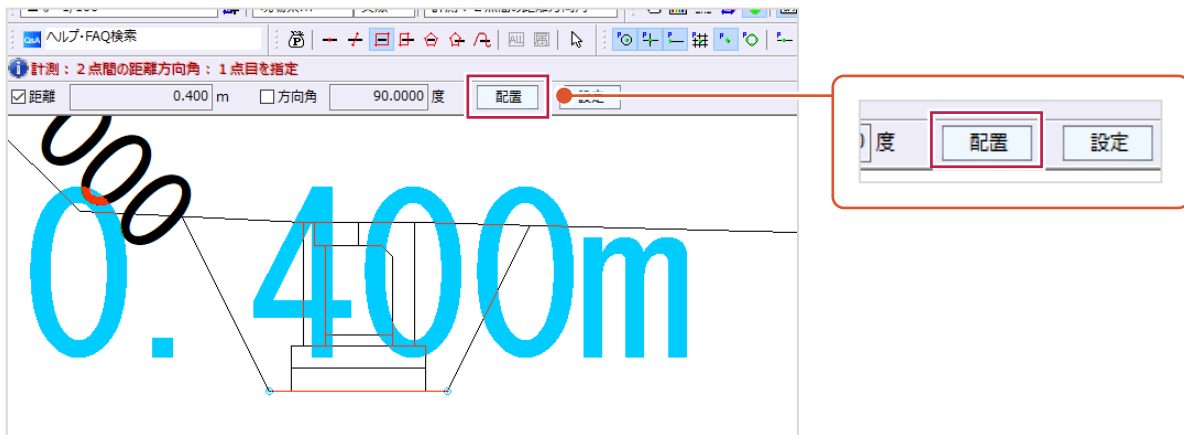


表示される水色の点間距離は一時的なもので作図はされていません。

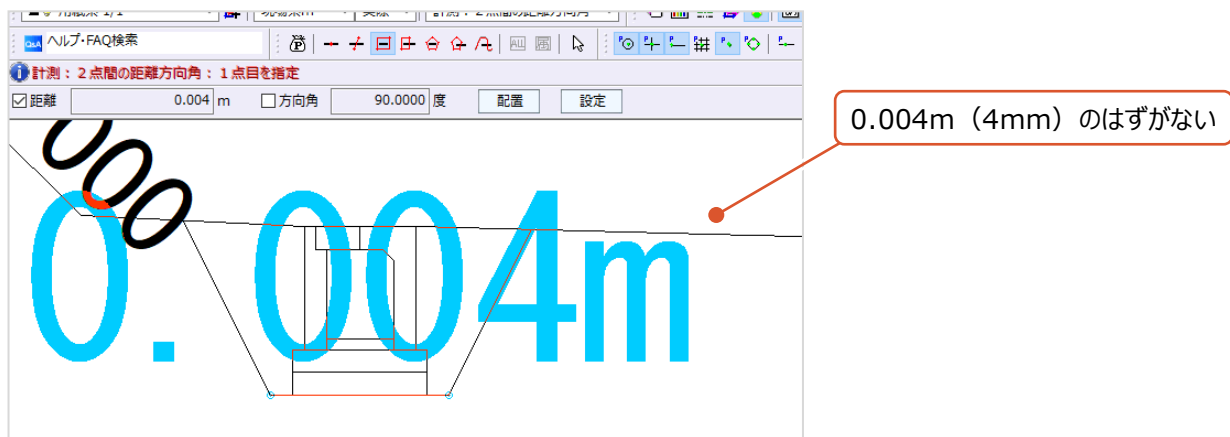
補足

### 点間距離を作図する（書き込む）には

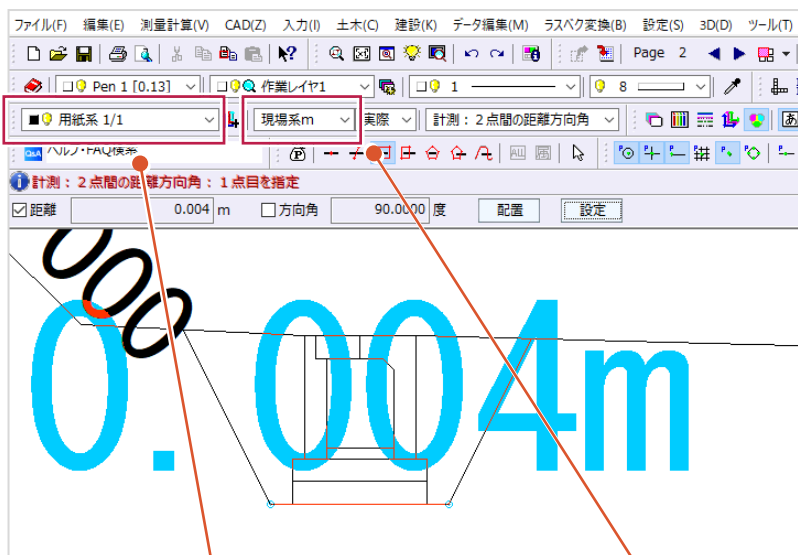
点間距離の表示後、インプットバーにある【配置】をクリックすると作図されます。  
 （水色の文字が、サイズなどもそのままの見た目で作図されます。）



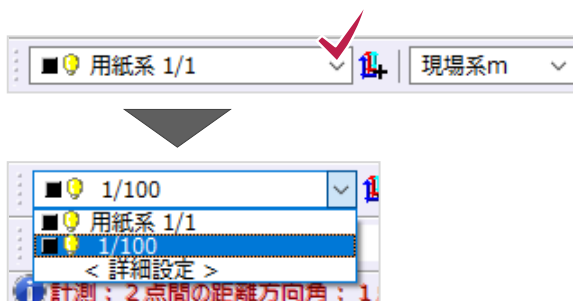
## 表示される距離が「おかしい」場合について



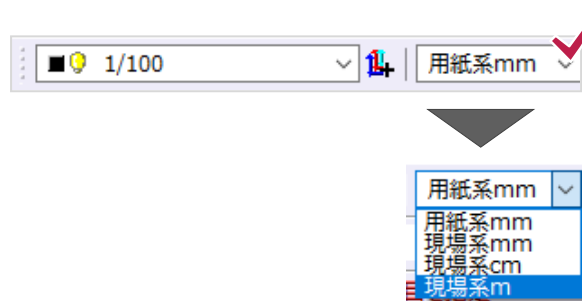
本来とは異なる（かけ離れた）距離が表示される場合などは、ツールバー上の設定を確認してください。



計測に使用する「縮尺」を確認してください。  
「用紙系 1/1」が選択されていると、  
本来の距離は表示されません。



計測した距離の表示単位を確認してください。  
「用紙系mm」が選択されていると、  
本来の距離は表示されません。

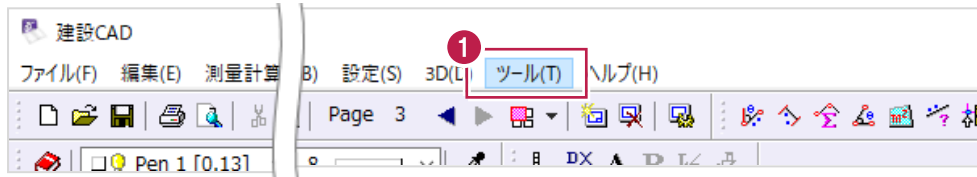


上記の確認・設定後も改善されない場合は、「縮尺」の設定がうまくできていない可能性があります。

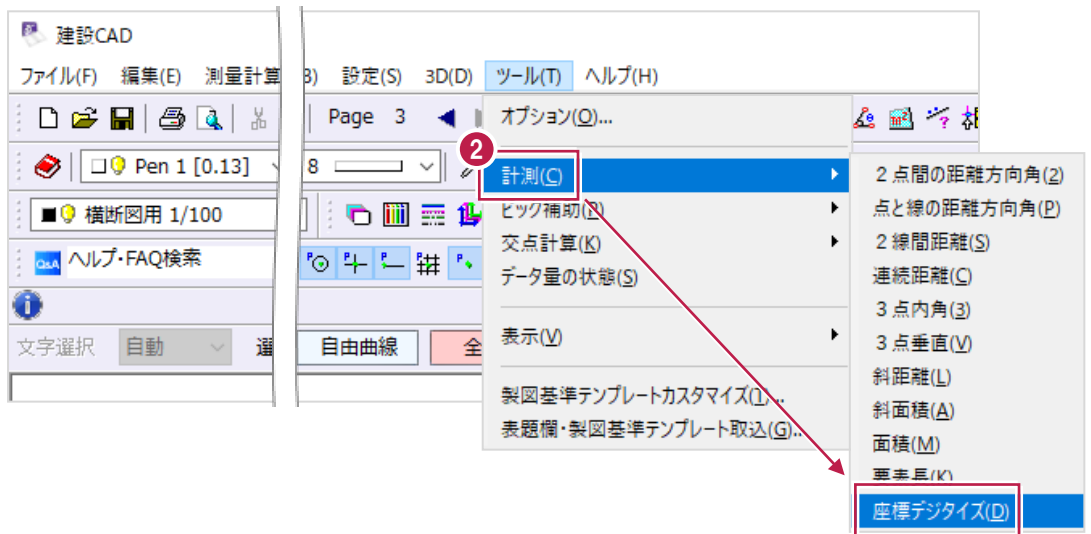
## ■ (2) 座標値の確認

ここでは、[計測] 機能を利用した確認方法を説明します。

- 1 画面上の [ツール] をクリックします。

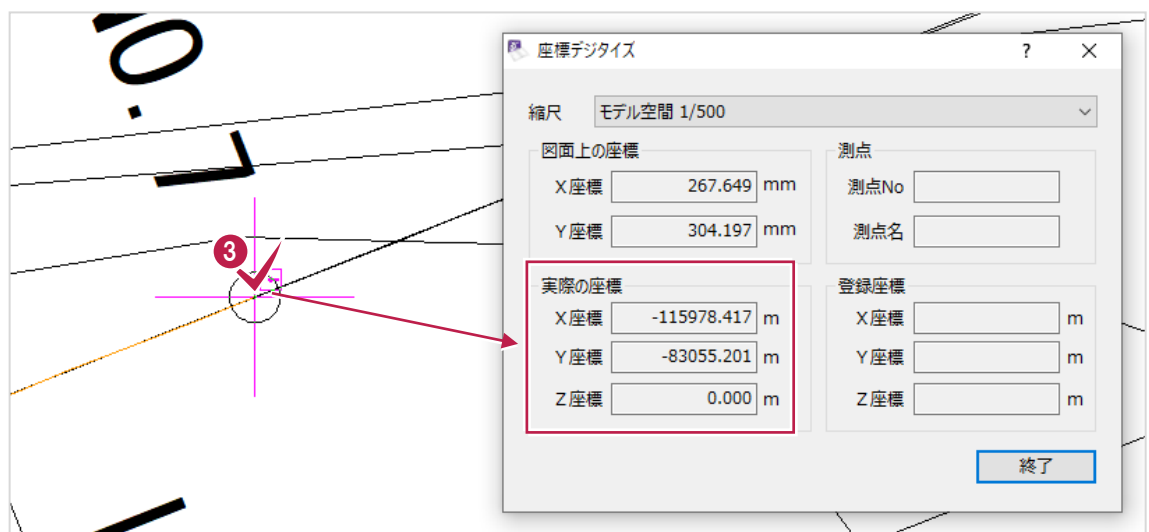


- 2 表示されるメニューの [計測]、[座標デジタイズ] を順にクリックします。



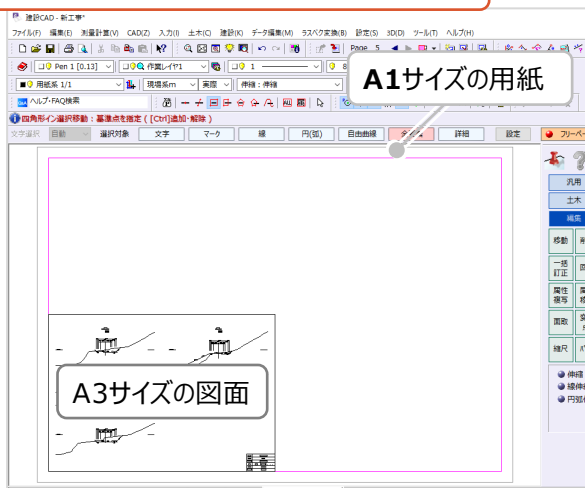
- 3 確認したい箇所をクリックします。

クリック後、座標値が [座標デジタイズ] 画面に表示されます。  
[実際の座標] 以下の座標値を確認してください。

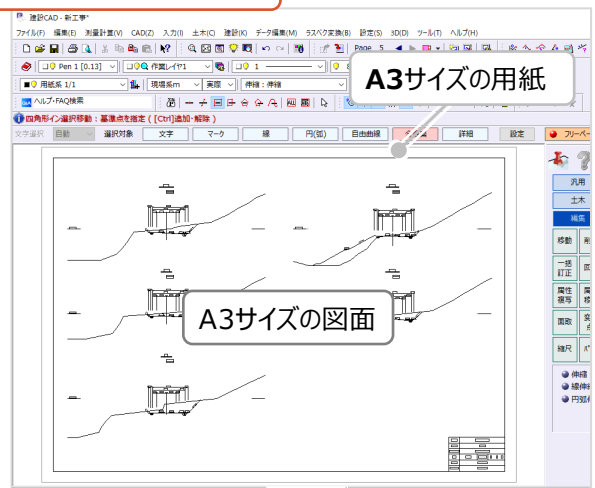


## 6-2 用紙サイズを変更するには

図面サイズと用紙サイズがずれているので、

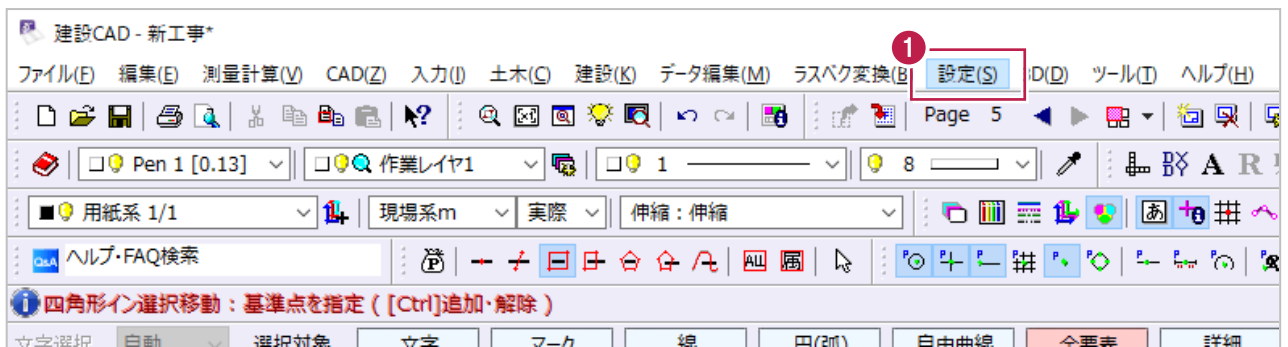


用紙サイズを変更したい

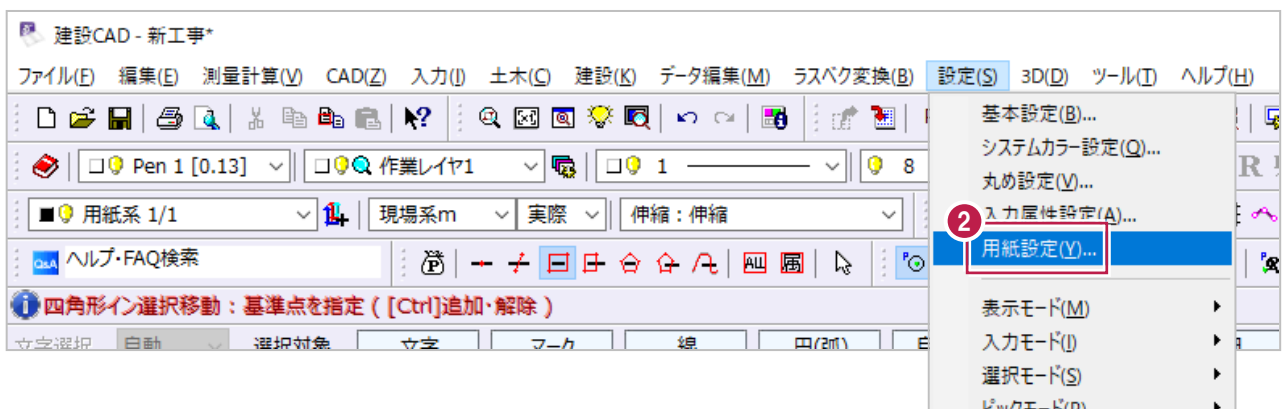


[建設CAD] プログラム上の用紙サイズ変更方法を説明します。  
(ここでの操作で図面のサイズは変更されません。)

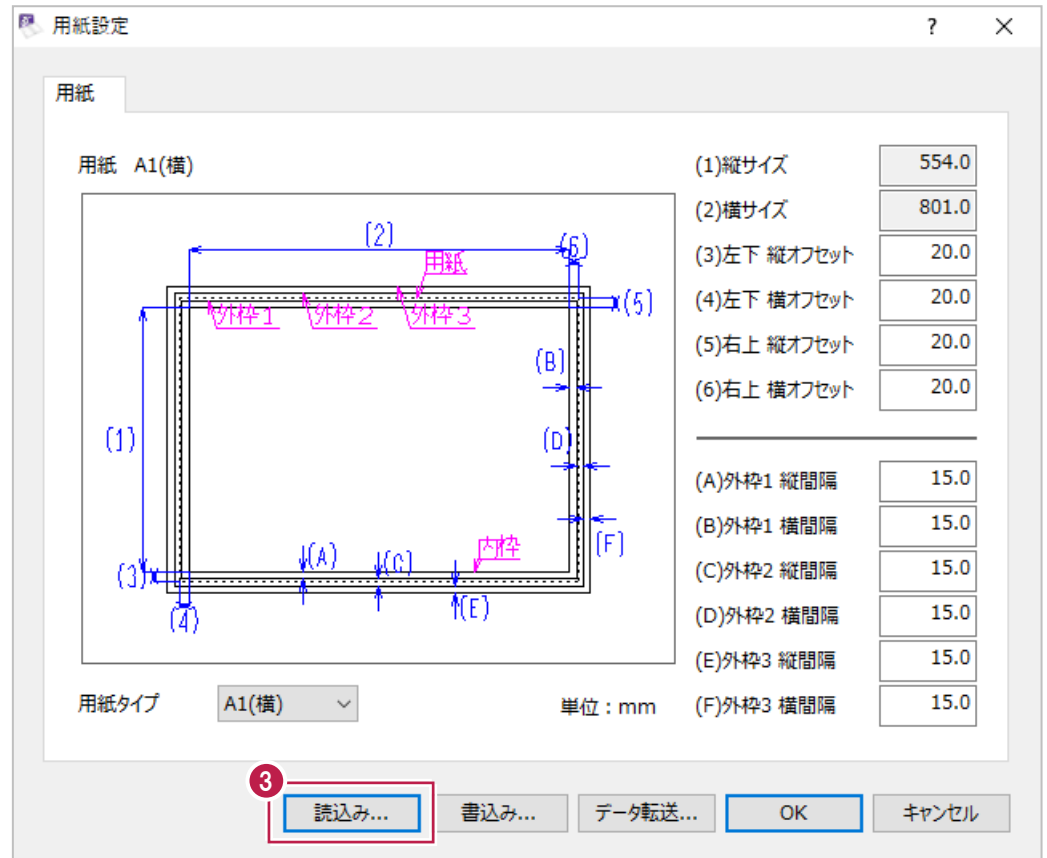
- 1 画面上の「設定」をクリックします。



- 2 表示されるメニューの「用紙設定」をクリックします。

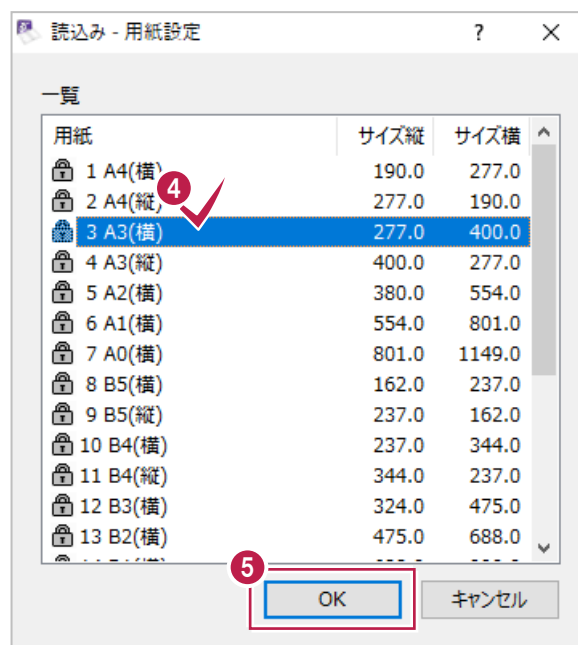


- ③ [用紙設定] 画面の  
[読み込み] をクリックします。



- ④ 変更後の用紙サイズを選択します。

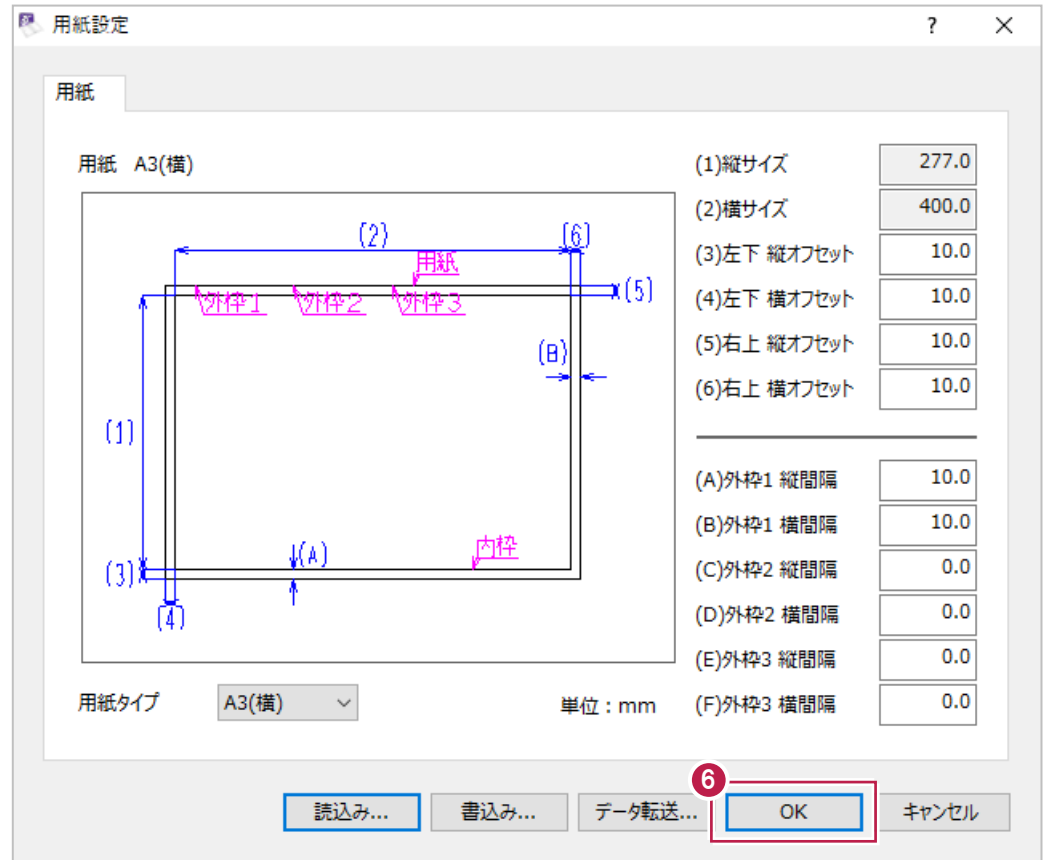
- ⑤ [OK] をクリックします。



6 [OK] をクリックします。

用紙サイズが変更されます。

変更作業はこれで終わりです。





### 6-3 「縮尺」(図面サイズ) を変更するには

入力済みの図面の「縮尺」(図面サイズ) を変更する方法を説明します。

なお、変更を使用する「縮尺編集」の機能は、「[元に戻す] が無効 (使用できない) ため、操作前に一旦データを保存してから操作することを強くおすすめします。

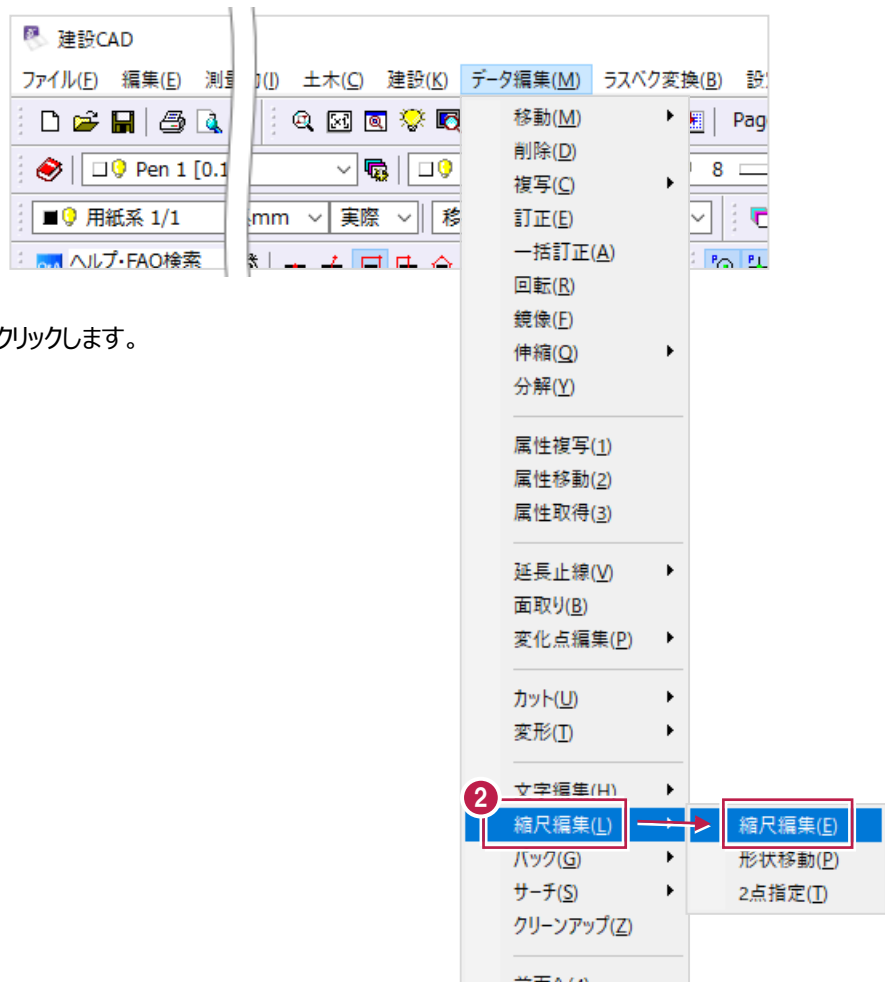
また、縮尺の変更は、「縮尺」の情報1種類に対しておこないます。

事前に「6-4 別の「縮尺」に変更するには」などを操作して、文字や線に記録されている「縮尺」の情報を整理してください。

- ① 画面上の  
「データ編集」をクリックします。



- ② 表示されるメニューの  
「縮尺編集」を、  
「縮尺編集」をクリックします。



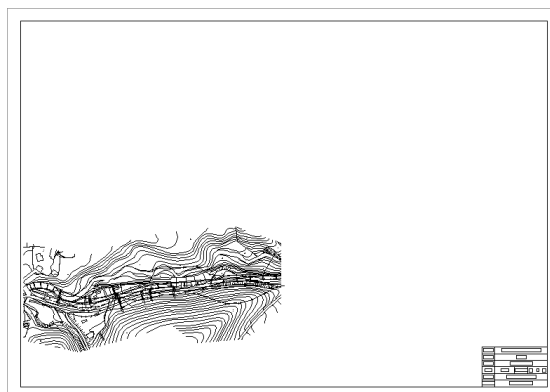
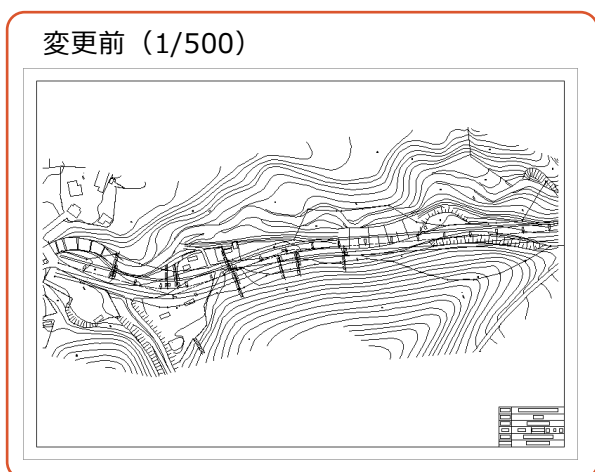
- ③ 変更する条件を順に設定します。  
まず変更前の「縮尺」の選択をします。  
(ここで選択したものが、  
上書きで変更されます。)

- ④ [縮尺を変更する] をクリックしてオンにします。

- ⑤ 変更後の「縮尺」を入力します。

- ⑥ [OK] をクリックします。

- ⑦ [OK] をクリックします。  
「縮尺」の情報と、図面サイズが変更されます。  
変更作業はこれで終わりです。



## 【縮尺編集】画面の設定について

各設定の意味合いは以下のとおりです。

【CADデータも変更】 【ラスタデータも変更】

「CADデータ」とは文字や線など、「ラスタデータ」とはCAD上に配置された画像をそれぞれ指します。

チェックボックスをオンにした要素が「縮尺」(サイズ)の変更対象になります。

【基準点マウス指定】

「縮尺」(サイズ)の変更をおこなう場合には図面を伸縮させることとなりますが、その中心をマウスで指定する場合はオンにします。オフにした場合は、用紙の左下が中心になります。

【文字も伸縮】 【マークも伸縮】

それぞれチェックボックスをオンにした要素のみがサイズ変更の対象になります。

測点の文字や座標マークをそのままのサイズにしておきたい場合は、オフにします。

## 6-4 別の「縮尺」情報に変更するには

入力済の文字や線に記録されている「縮尺」の情報を別の「縮尺」に変更する方法を説明します。

ここでの操作は記録されている情報の変更のみで、操作後に図面サイズは変更されません。

「6-1 図面を移動するには」の操作例で使用した [縮尺編集] - [形状移動] のコマンドや、電子納品用の成果図面を作成するにあたって、重要な操作です。

ここでは、以下の2つの方法を説明します。

- (1) 個別に変更する方法
- (2) 「縮尺」ごとに確認しながら変更する方法

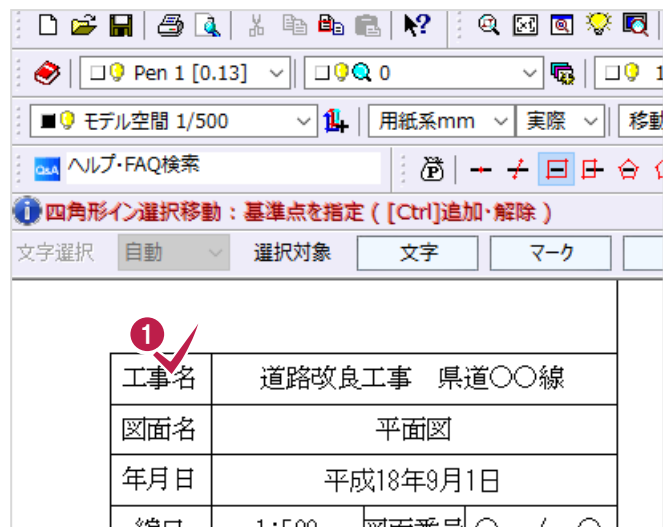
### (1) 個別に変更する方法

ここでは、CAD上で直接要素を選択してから変更する方法を説明します。

操作は、何もコマンドを実行していない状態でおこなってください。

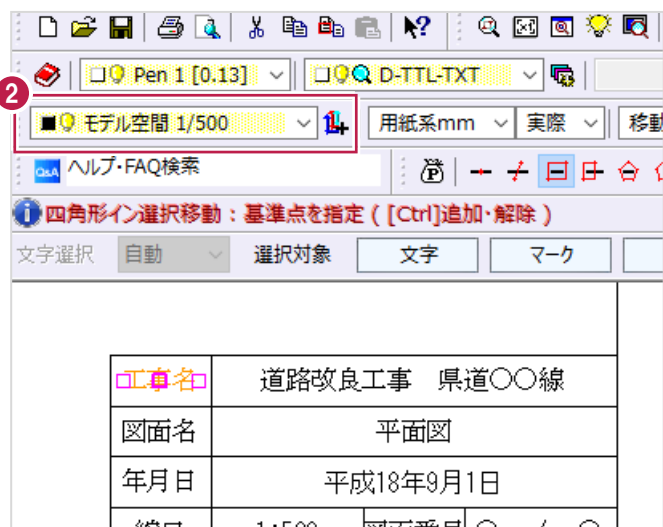
- 1 CAD上で、「縮尺」を変更する要素を選択します。

ここでは、文字列「工事名」をクリックして選択します。

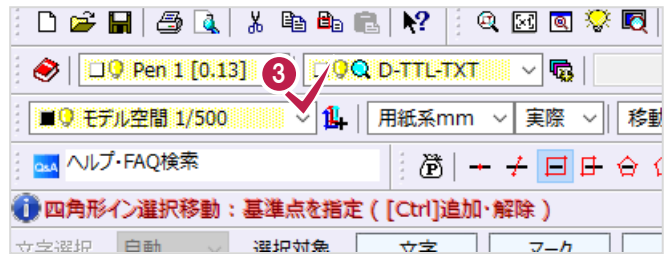


- 2 ツールバー上で背景が黄色の欄を確認します。

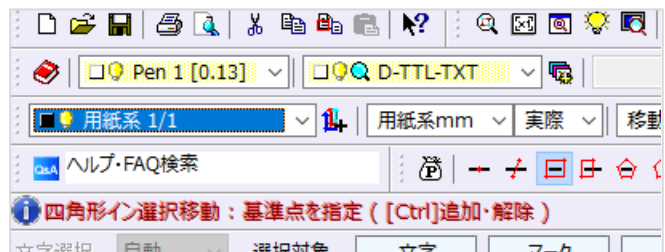
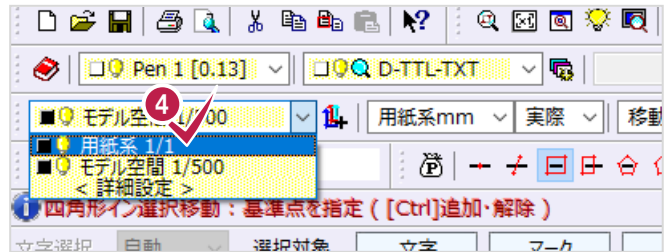
ここでは、文字列「工事名」に、「モデル空間 1/500」の「縮尺」が記録されていることがわかります。



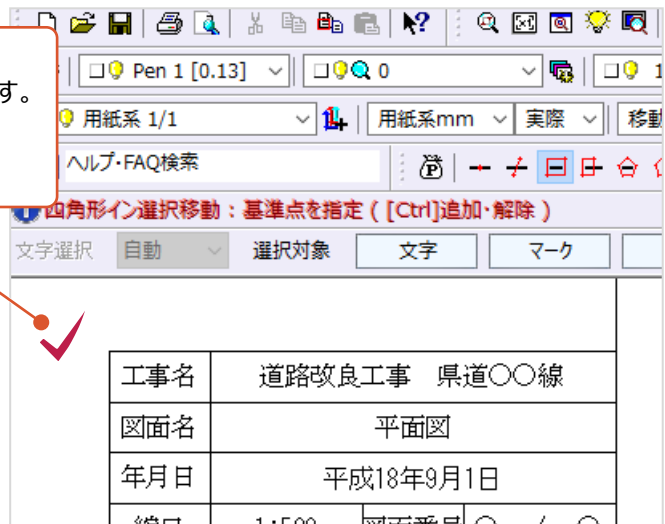
- ③ 「縮尺」の情報欄の右にある「▼」をクリックします。



- ④ 変更後の「縮尺」をクリックします。  
「縮尺」の変更作業はこれで終わりです。



「縮尺」の変更後も  
文字列「工事名」が選択されたままになっています。  
選択を解除したい場合は、  
CAD上の要素が何も無い所をクリックします。



補足

「縮尺」の情報だけではなく、図面サイズを変更するには

A1サイズの図面をA3サイズに変更するなどの変更方法については、  
「6-5 「縮尺」 (図面サイズ) を変更するには」を確認してください。

### 複数要素の一括変更について

マウスドラッグで複数の要素を選択して、一括で「縮尺」の情報を変更することもできます。  
 その場合、選択された要素に記録されている「縮尺」の情報が1種類ではなかった場合、情報欄が白抜きになります。  
 (その後の「」をクリックしての情報変更の方法は同じです。)

「用紙系1/1」の情報が記録されている「工事」

「モデル空間1/500」の情報が記録されている「道路改良工事 県道〇〇線」

工事名	道路改良工事 県道〇〇線		
図面名	平面図		
年月日	平成18年9月1日		
縮尺	1:500	図面番号	〇 / 〇

一緒に選択すると

共通ではない情報欄は空欄になります。

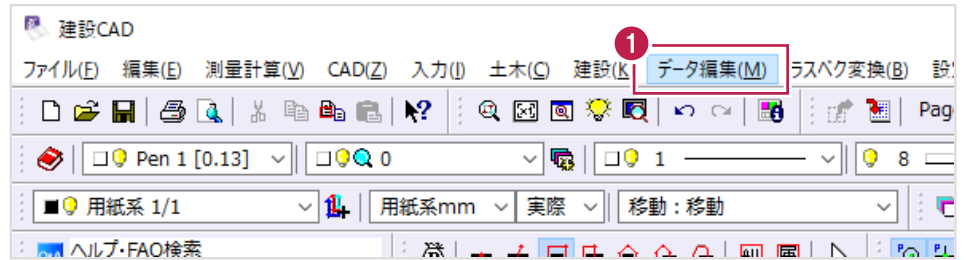
共通の情報欄は内容が表示されます。

□工事名□	□道路改良工事□ □県道〇〇線□		
図面名	平面図		
年月日	平成18年9月1日		
縮尺	1:500	図面番号	〇 / 〇

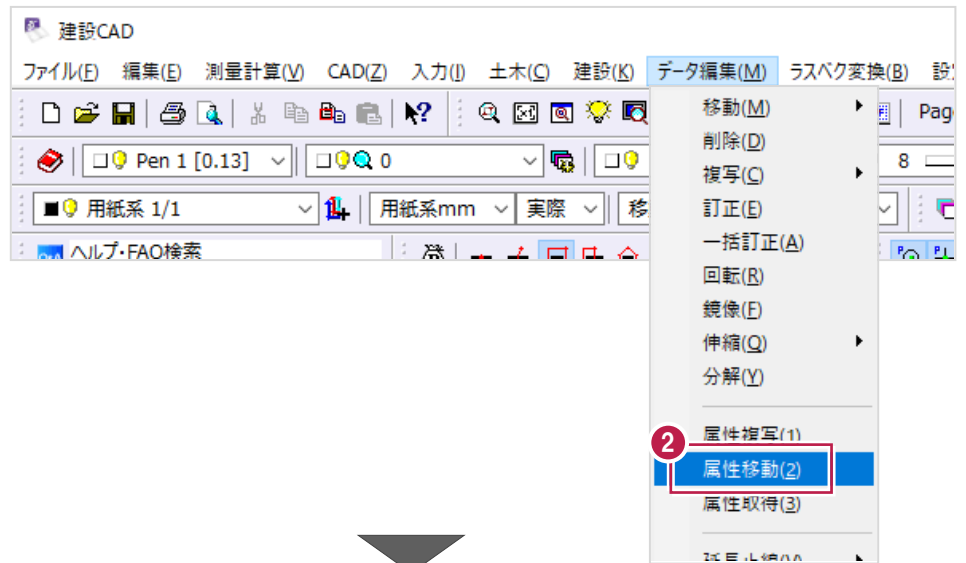
## ■ (2) 「縮尺」ごとに確認しながら変更する方法

使用されている「縮尺」とその内容を確認しながら変更するには「属性移動」の機能を使用します。  
「平面図用の1/500の情報になっている表題欄を、1/1の情報に変更する」操作を例に説明します。

- ① 画面上の  
「データ編集」をクリックします。



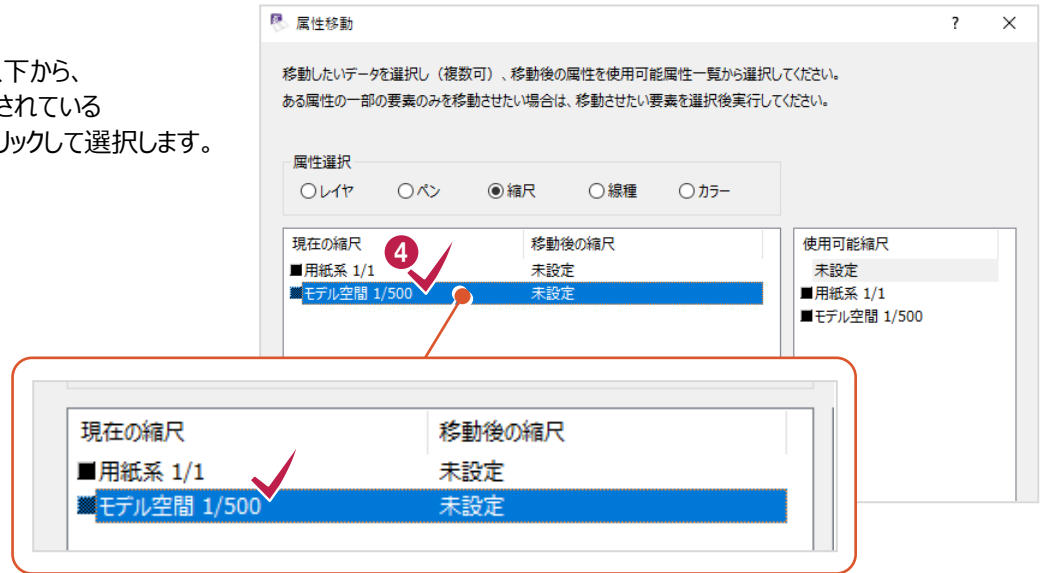
- ② 表示されるメニューの  
「属性移動」をクリックします。



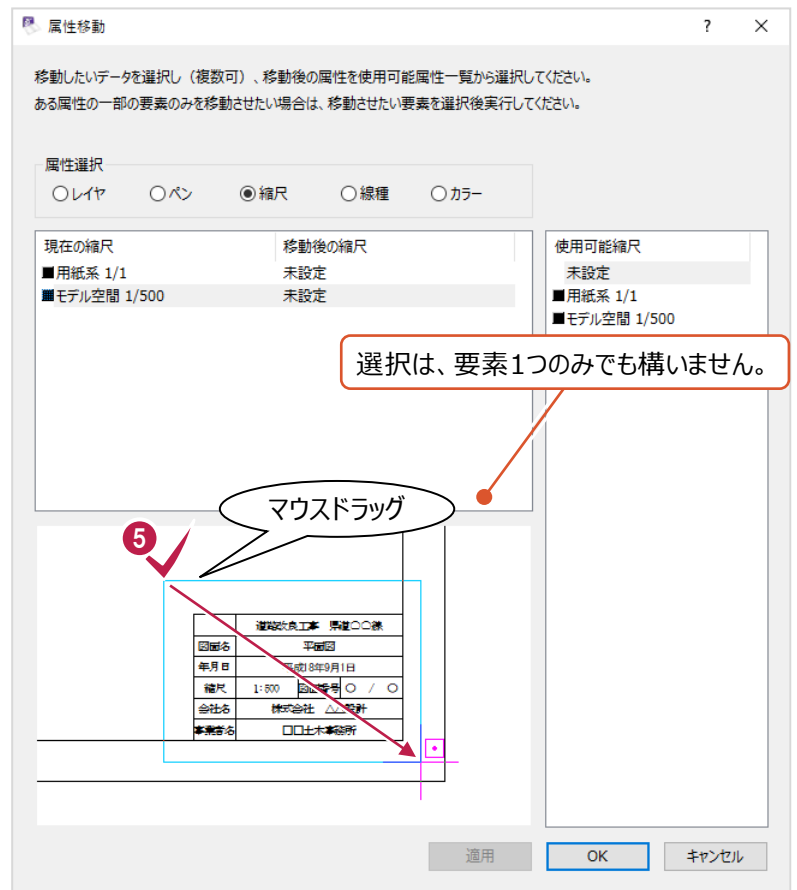
- ③ 「属性選択」欄の「縮尺」をクリックします。



- 4 まず「現在の縮尺」以下から、変更したい要素に記録されている現時点での「縮尺」をクリックして選択します。



- 5 「4」で選択した「縮尺」が記録されている要素が画面下に表示されます。小さい窓の中で、「縮尺」を変更したい要素のみを選択します。（例では表題欄をまとめて選択しています。）

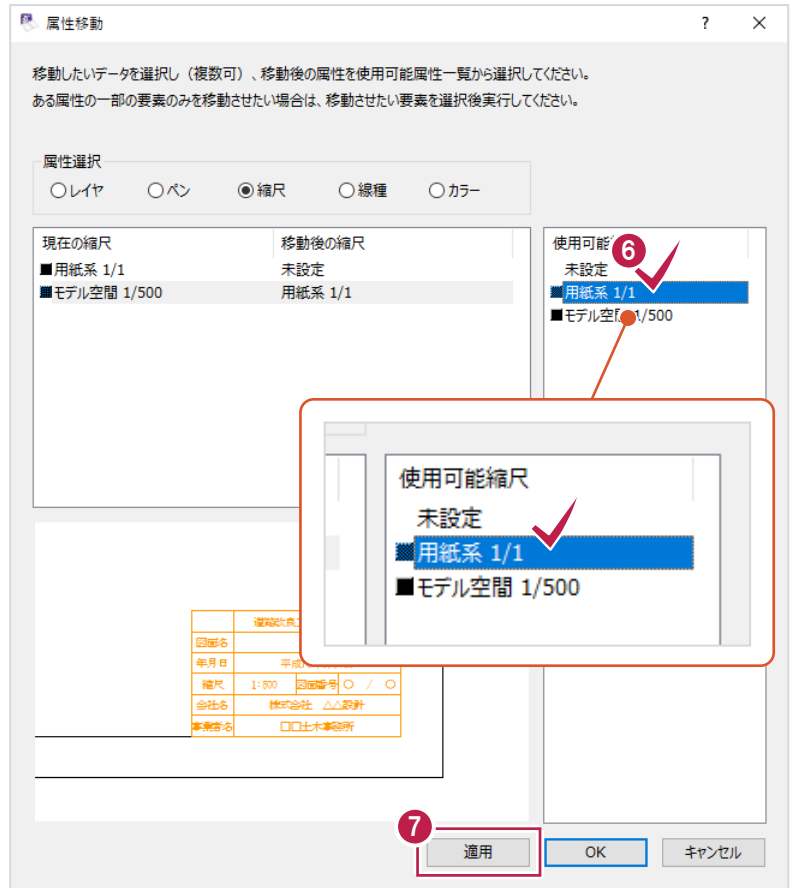




6 画面右の「使用可能縮尺」欄から、変更後の「縮尺」を選択します。

7 「適用」をクリックします。

ここで「OK」をクリックしてしまうと、変更されないため注意してください。

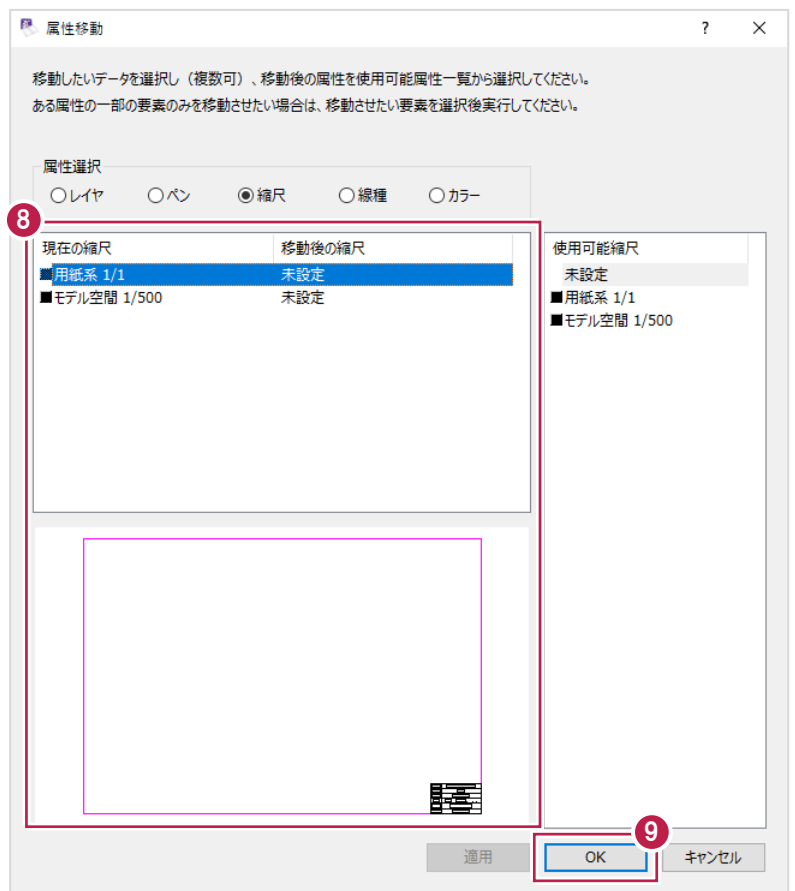


8 希望通りの変更となっているか確認します。

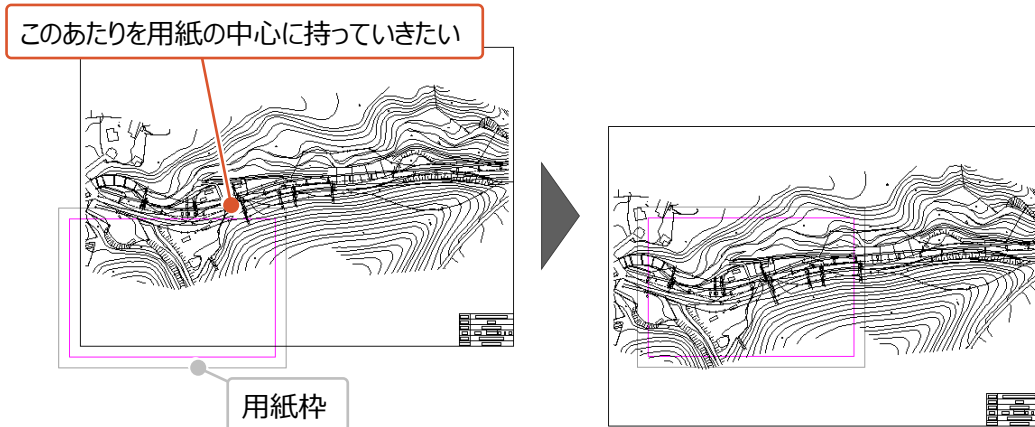
「現在の縮尺」欄の各「縮尺」をクリックして画面下の窓に表示される内容を確認します。希望通りの情報に変更されていない場合は、「4」から「8」の手順を繰り返します。

9 確認が終わったら「OK」をクリックします。

変更作業はこれで終わりです。



## 6-5 図面を移動するには



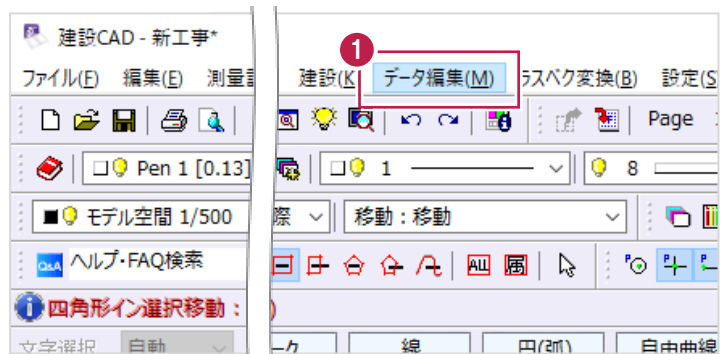
図面を移動するにあたって、座標情報含めて設定をおこなっている場合は移動方法に注意が必要です。操作を誤ると、図面から取得する座標値やプロット（作図）する座標位置などが本来のものではなくなります。

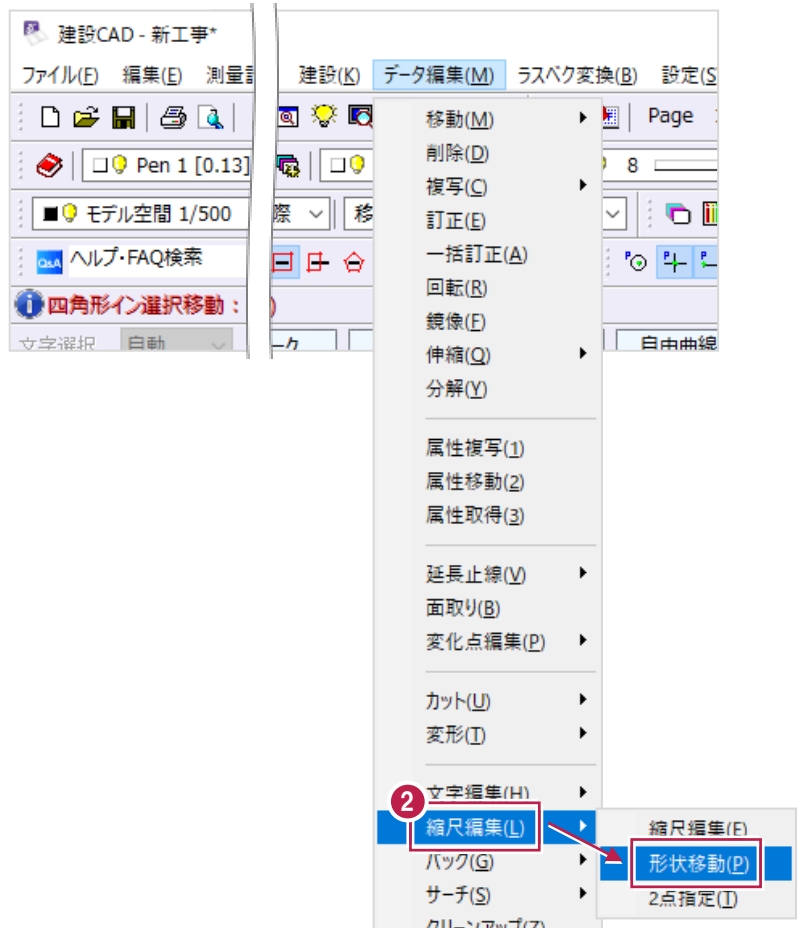
「座標情報を設定した平面図」や「原点座標まで設定した縦断図」の移動は、【データ編集】 - 【縮尺編集】 - 【形状移動】を使用する必要があります。

（「2 座標の設定をしながら平面図を開く」の操作をおこなった図面の場合も【形状移動】での移動が必要です。横断図や構造物図などの場合は、マウスドラッグや【データ編集】 - 【移動】を使用しての移動で構いません。）

【データ編集】 - 【縮尺編集】 - 【形状移動】の操作方法は以下のとおりです。

① 画面上の【データ編集】をクリックします。

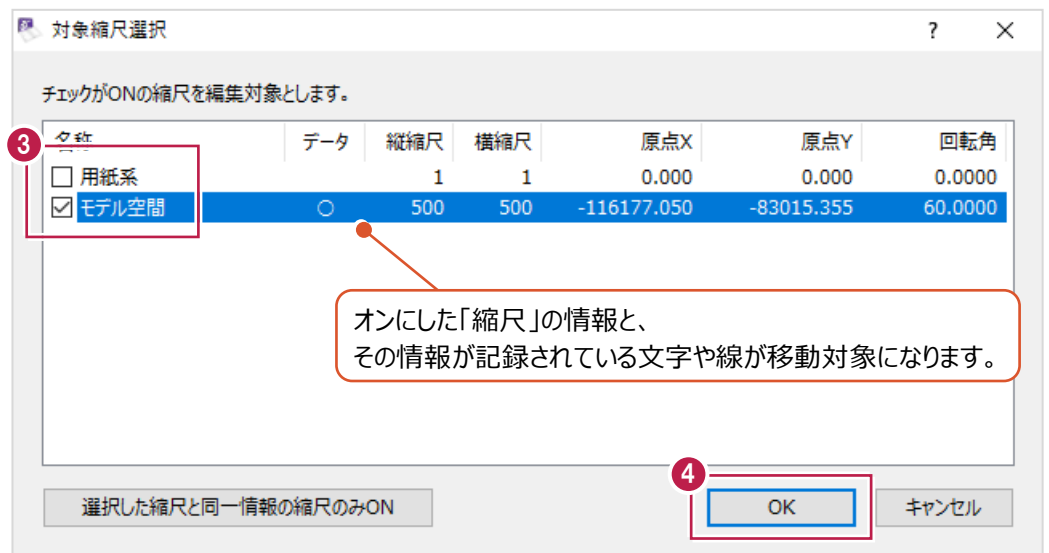




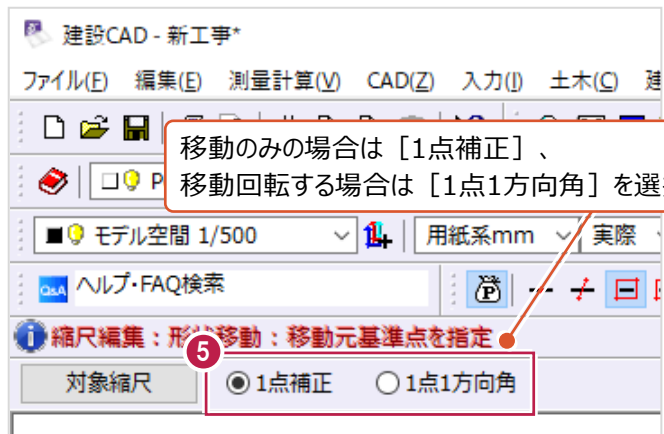
- ② 表示されるメニューの  
[縮尺編集] - [形状移動] をクリックします。

- ③ 移動する「縮尺」のチェックボックスをオンにします。

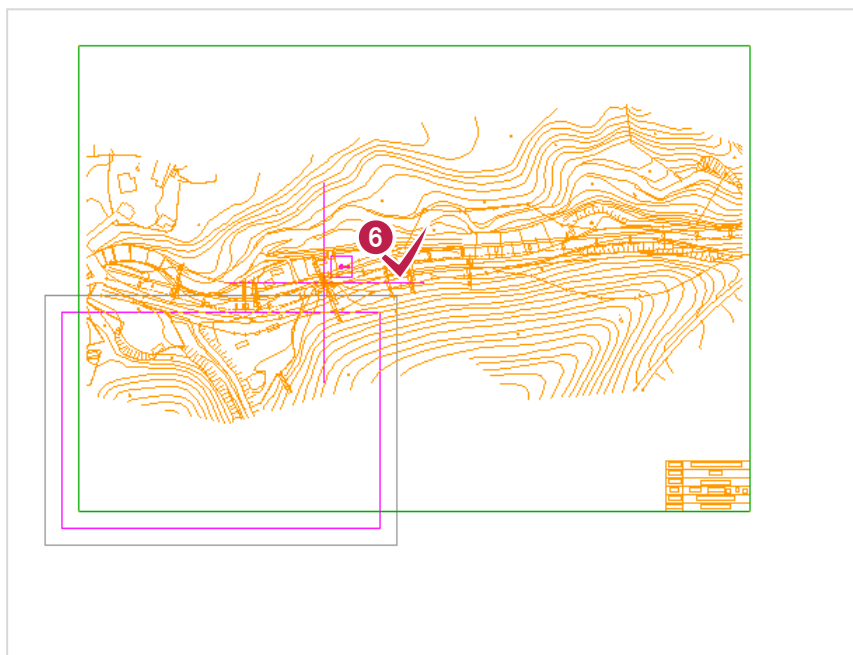
- ④ [OK] をクリックします。



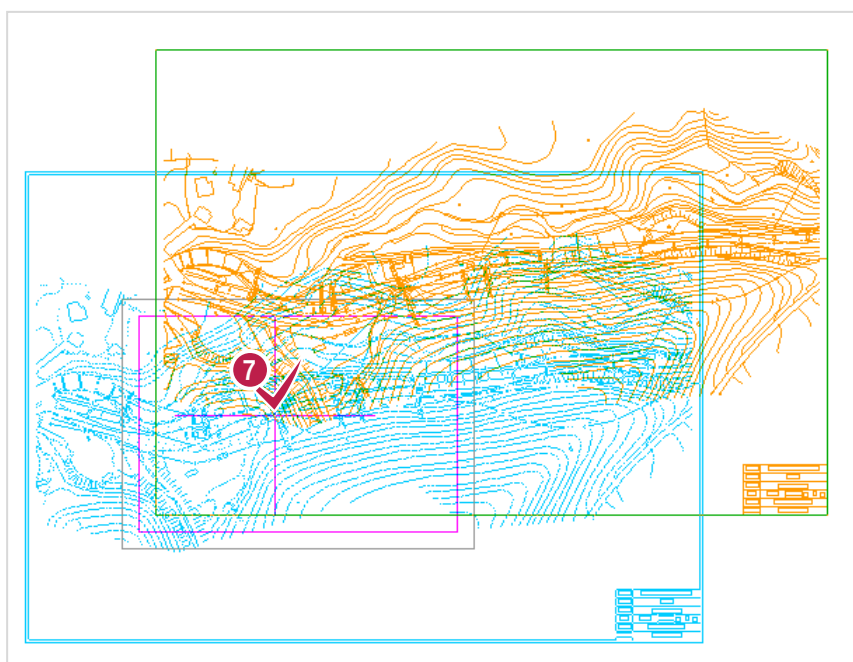
- ⑤ CAD画面左上（インプットバー）で、移動方法を選択します。  
ここでは「1点補正」を選択します。



- ⑥ 移動元・移動先の順に2回クリックして図面を移動します。  
まず移動元をクリックします。



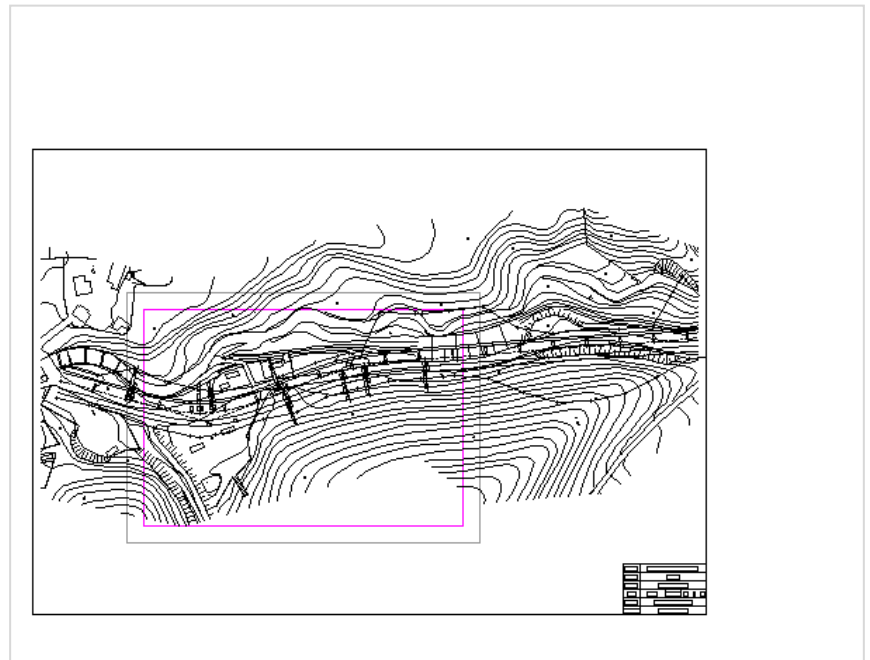
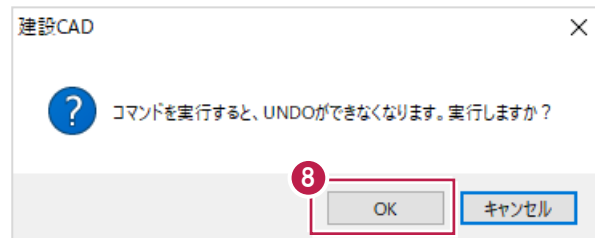
- ⑦ 移動先をクリックします。



8 [OK] をクリックします。

これで移動作業は終わりです。

この方法後も座標値確認をおこなえます。



補足

#### 移動する対象について

[データ編集] - [縮尺編集] - [形状移動] は、文字や線などに記録されている「縮尺」の情報ごとに移動させます。操作時に「移動してほしい文字が移動しなかった」場合や、「移動してほしくない線も移動してしまった」場合は、「6-4 別の「縮尺」に変更するには」の内容を確認・操作して、移動したい文字や線を、同じ「縮尺」にまとめてください。（移動してほしくない文字や線は、別の「縮尺」にわけてください。）

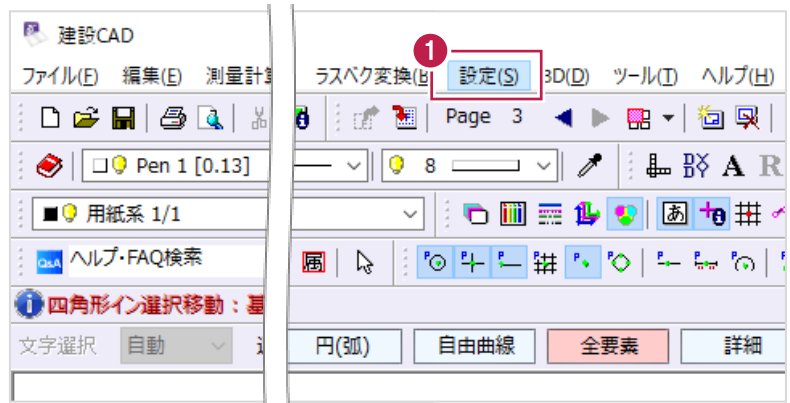
## 6-6 新たな「縮尺」を追加するには

今ある縮尺に加えて「1/100」を追加したい

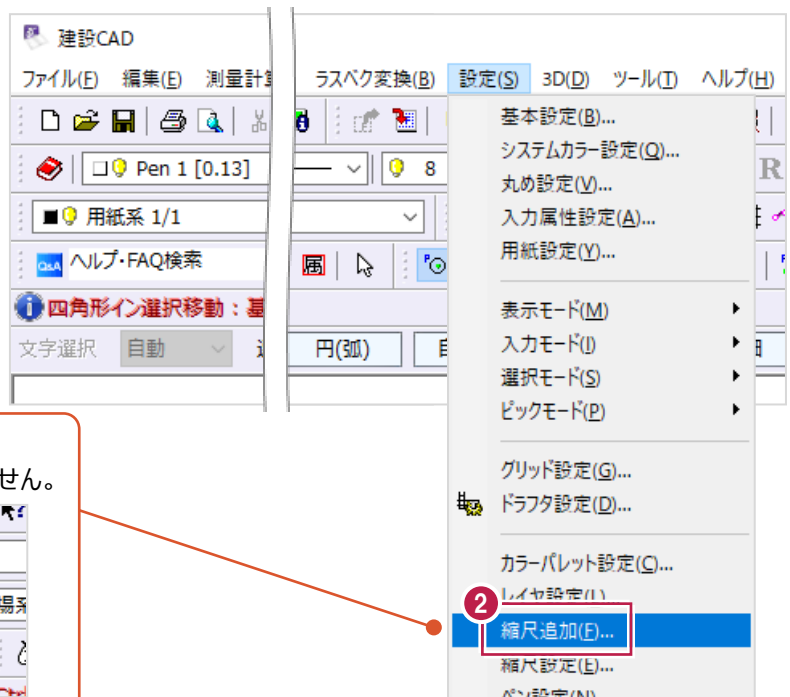


新たに縮尺を追加する方法は以下のとおりです。  
操作例では、横断図用の「1/100」を追加します。

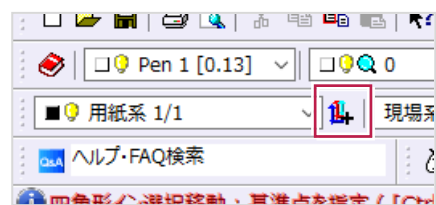
- 1 画面上の「設定」をクリックします。



- 2 表示されるメニューの「縮尺追加」をクリックします。



ツールバーの「縮尺」欄の  
右にあるアイコンをクリックしても構いません。

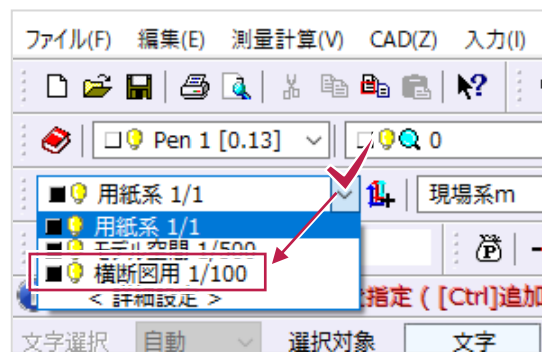


[名称] 欄に文字を入力しておく  
と、  
選択する時に探しやすくなります。

③ [縦縮尺] [横縮尺] 欄に、  
追加する縮尺を入力します。  
ここでは両方に「100」を入力します。

④ [OK] をクリックします。  
「1/100」が追加されます。  
追加作業はこれで終わりです。

名称	横断図用	
カラー	1	
縦縮尺	1 /	100
横縮尺	1 /	100
原点X座標	0.000	m
原点Y座標	0.000	m
回転角	0.0000	度
CAD指定	2点から縮尺・原点・回転角を計算します。	
OK	キャンセル	



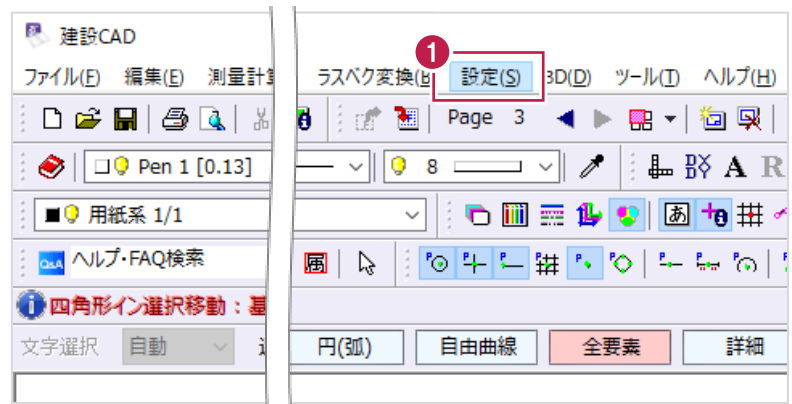
## 6-7 不要な「縮尺」を削除するには

不要な「1/100」を削除したい

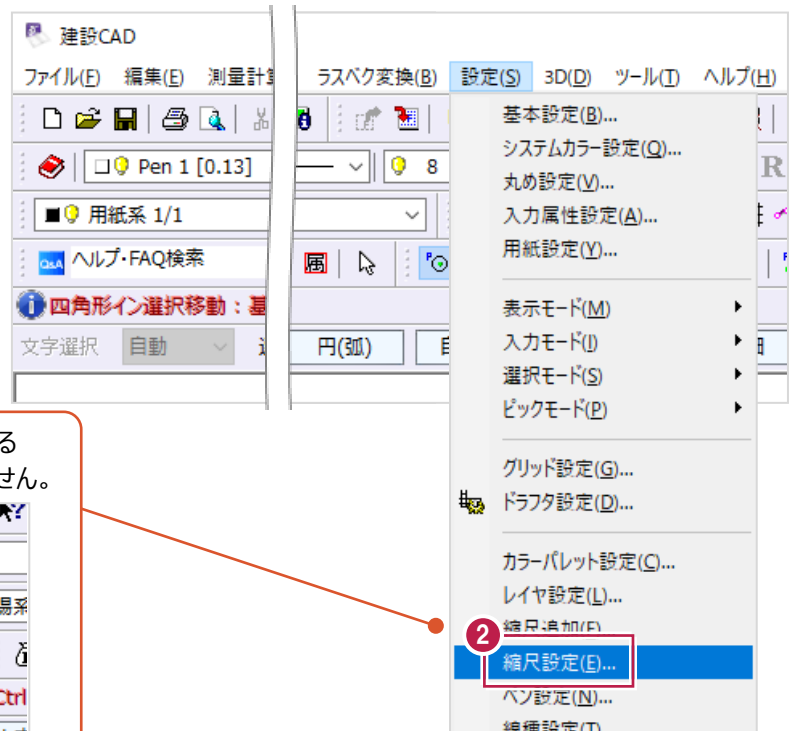


不要な「縮尺」を削除する方法は以下のとおりです。  
操作例では、横断図用の「1/100」を削除します。

- 1 画面上の「設定」をクリックします。



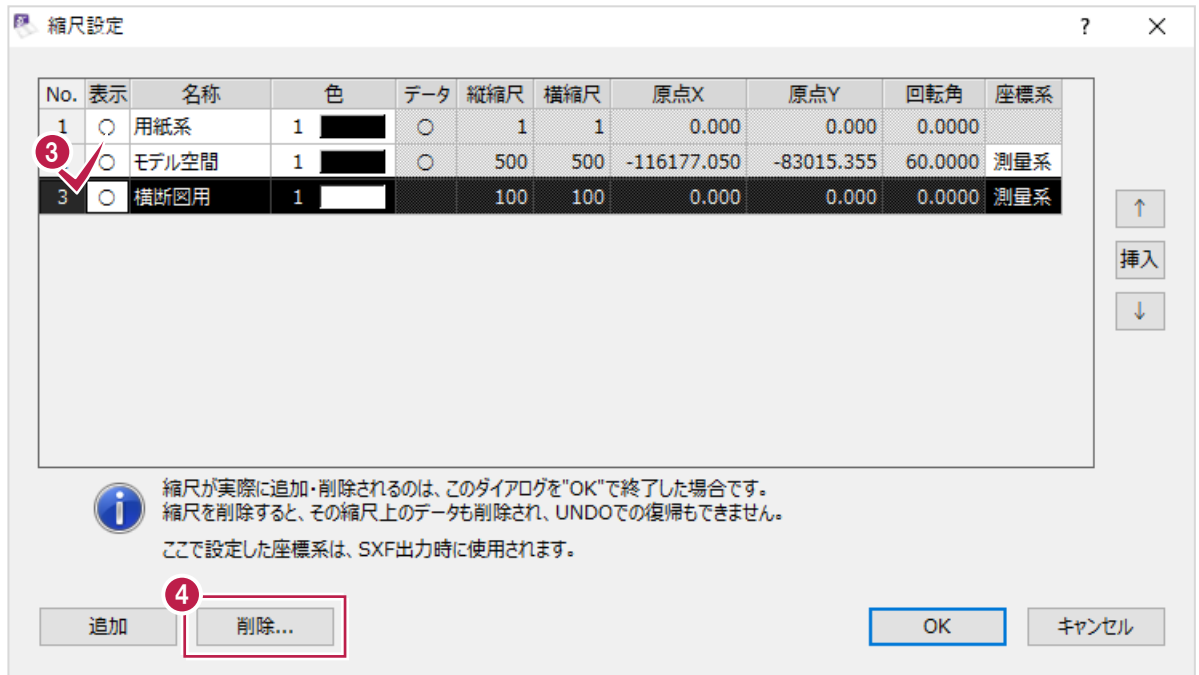
- 2 表示されるメニューの「縮尺設定」をクリックします。



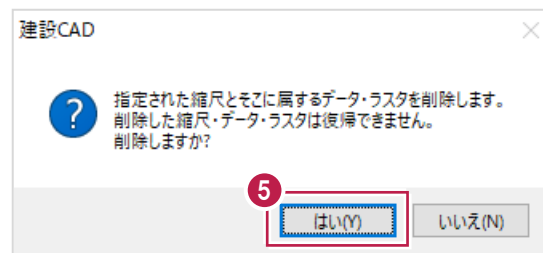


③ 削除する「縮尺」の [No.] 欄をクリックします。  
(行を選択します。)

④ [削除] をクリックします。

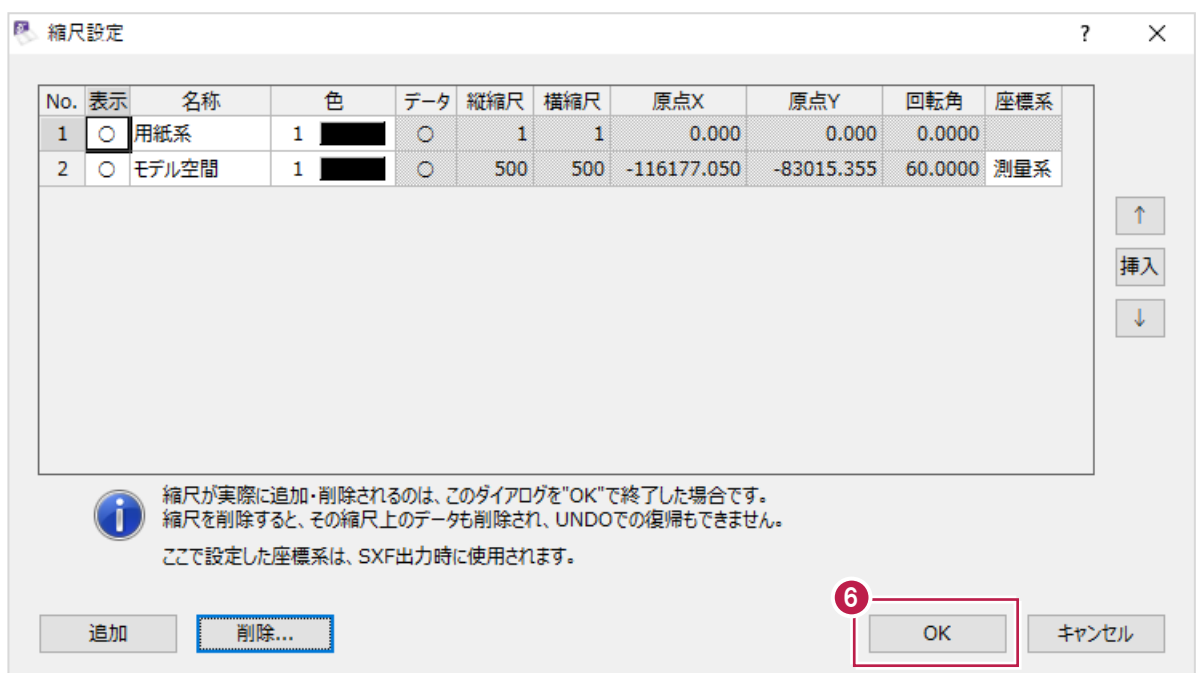


⑤ [(はい)] をクリックします。



⑥ [OK] をクリックします。

削除作業はこれで終わりです。

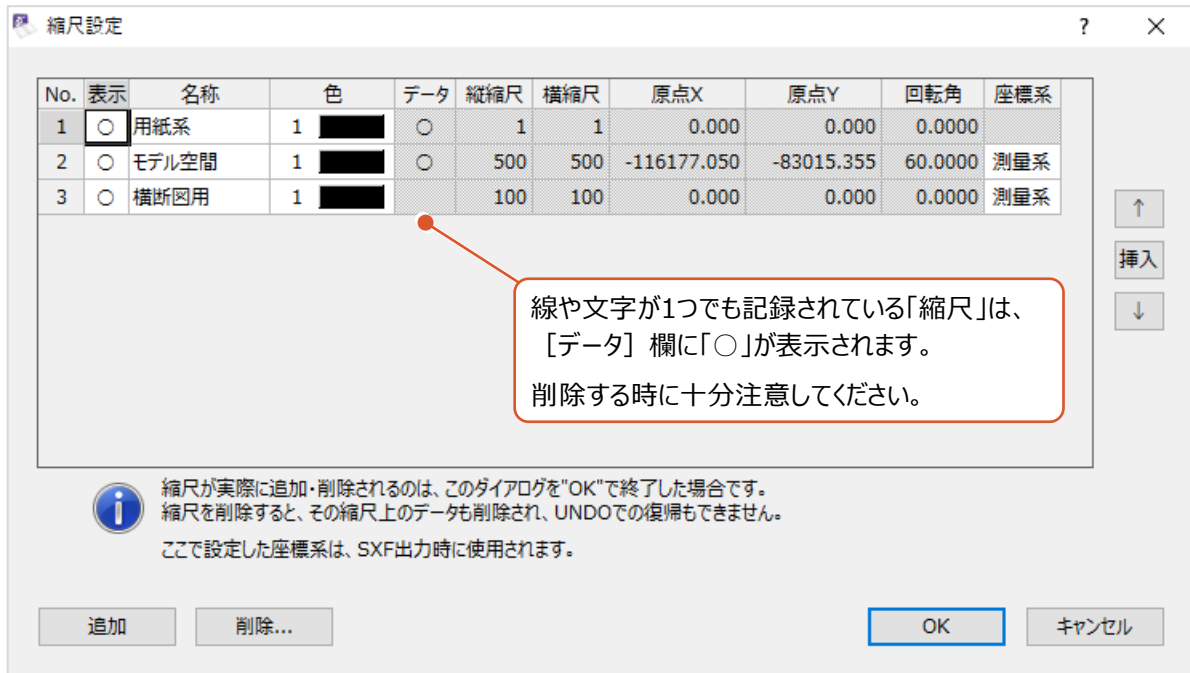


## 補足

### 削除される内容について

「縮尺」を削除すると、その「縮尺」の情報が記録されていた線や文字などの要素も同時に削除されます。  
また、[縮尺設定] 画面で「縮尺」を削除後に [OK] をクリックした場合、  
[編集] - [元に戻す] で削除前に戻すことができません。

削除したい「縮尺」に要素が存在している場合は、本当に不要な要素なのかを確認してから削除操作をおこなってください。  
必要な要素が混在していた場合は、「6-4 別の「縮尺」に変更するには」の操作などで別の「縮尺」に移動してから再度「縮尺の削除」を操作してください。



## 補足

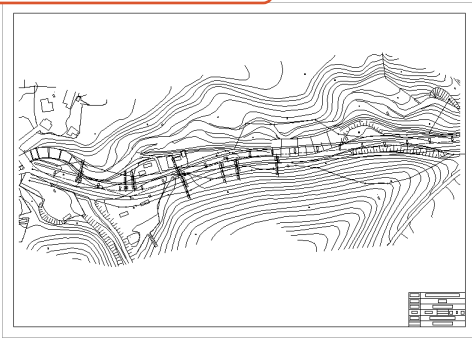
### 入力済みの文字や線に記録されている「縮尺」を変更するには

ここで説明しているのは、「縮尺」の情報を追加する方法のみです。  
(入力済みの文字や線に記録されている情報が自動で変更されるわけではありません。)

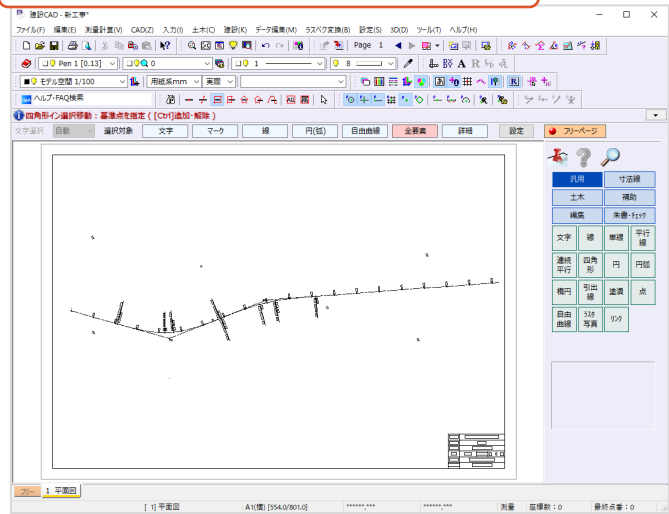
入力済みの文字や線に記録されている情報を変更するには、  
「6-4 別の「縮尺」に変更するには」の内容を確認・操作してください。

## 6-8 図面の一部しか表示されない場合は

印刷してもらった図面と



[建設CAD] で開いてみたら見た目が違う

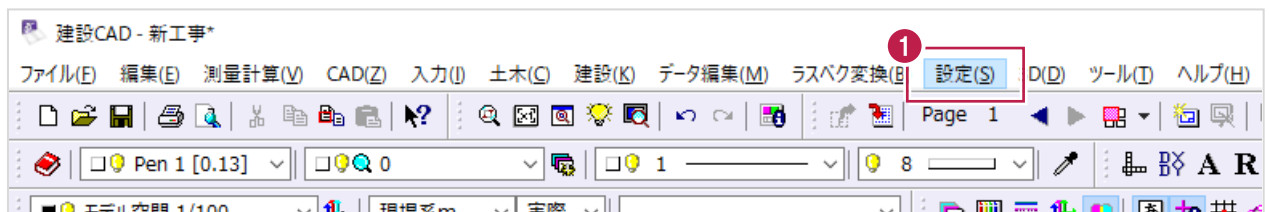


レイヤの表示・非表示の状態は、CADデータに保存することができるため、上記例で言うと、印刷物などをやりとりした段階と、CADデータに保存した段階とで異なる可能性があります。（無くなっているわけではなく、見えない状態に設定されている可能性があります。）

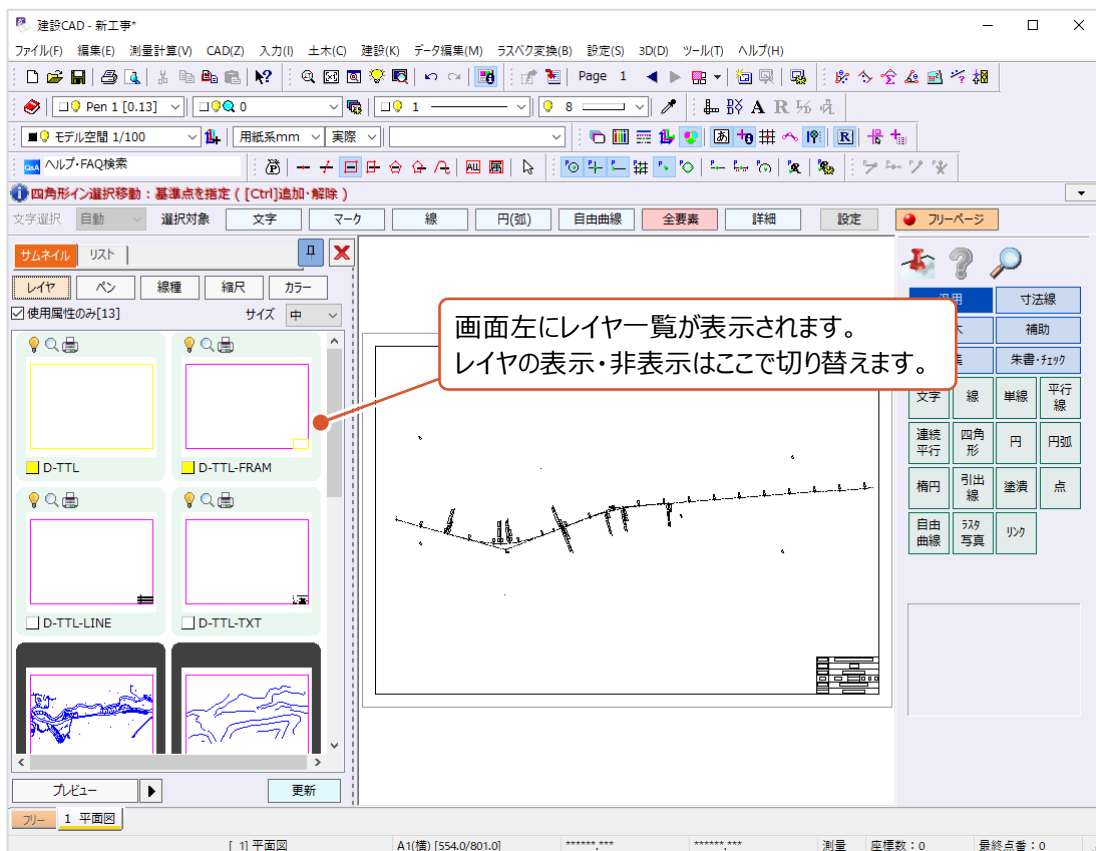
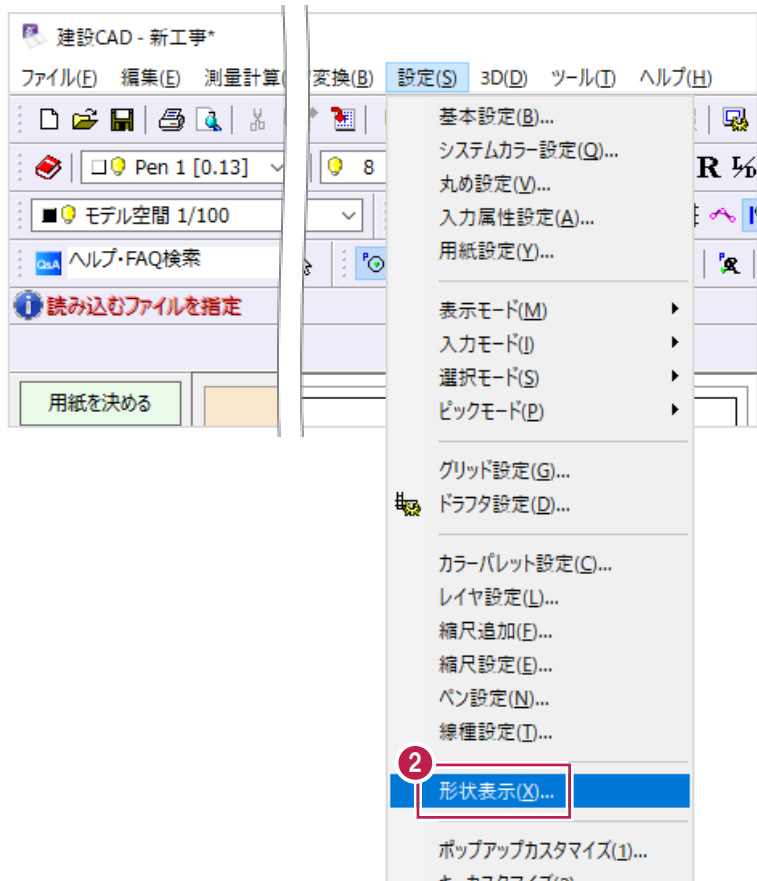
別会社の方からいただいたデータなどの場合は、本来の状態データをもらいなおすことができないか再度確認することをおすすめします。

[建設CAD] プログラム側で表示・非表示を切り替える方法は以下のとおりです。  
「本来何を表示すべきか」はプログラム側では判断できないため、ご注意ください。

① 画面上の [設定] をクリックします。

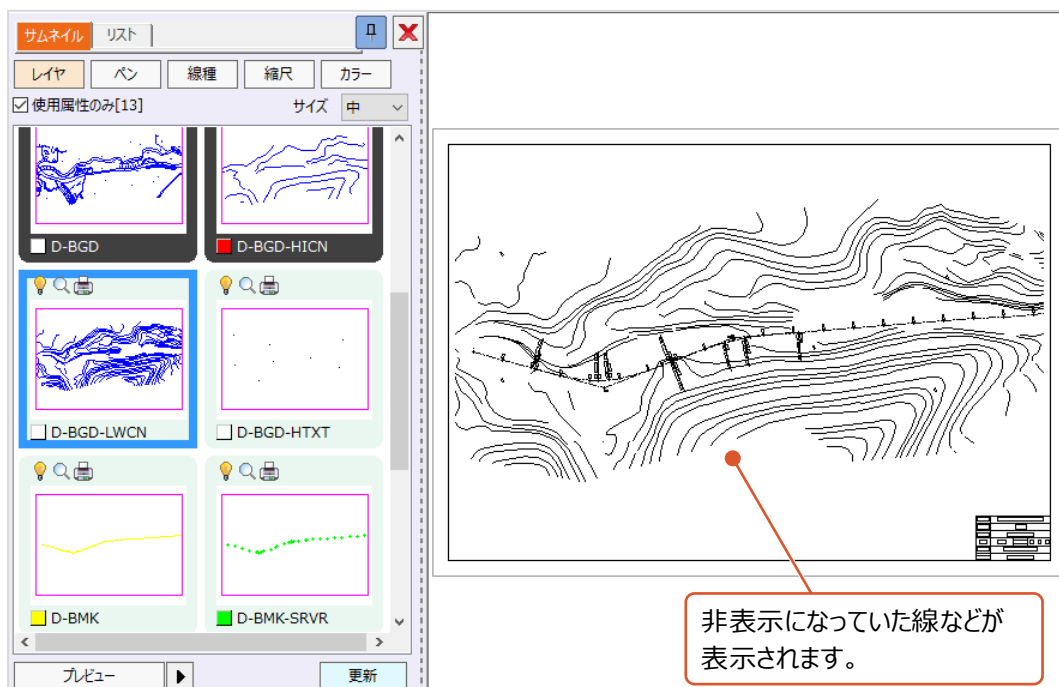
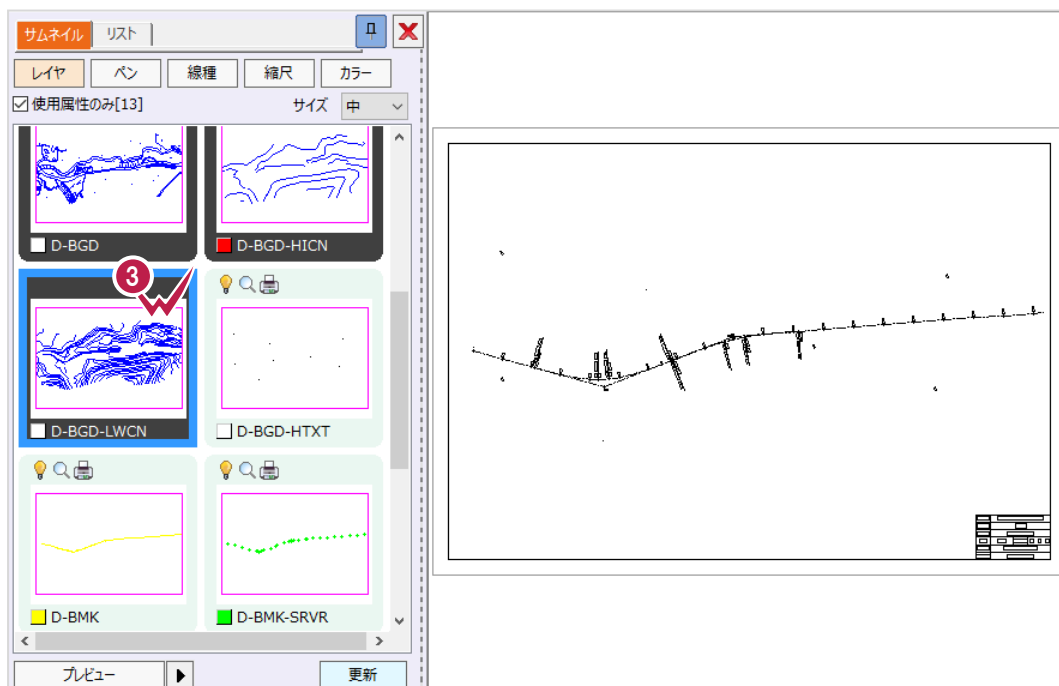


- ② 表示されるメニューの  
「形状表示」をクリックします。

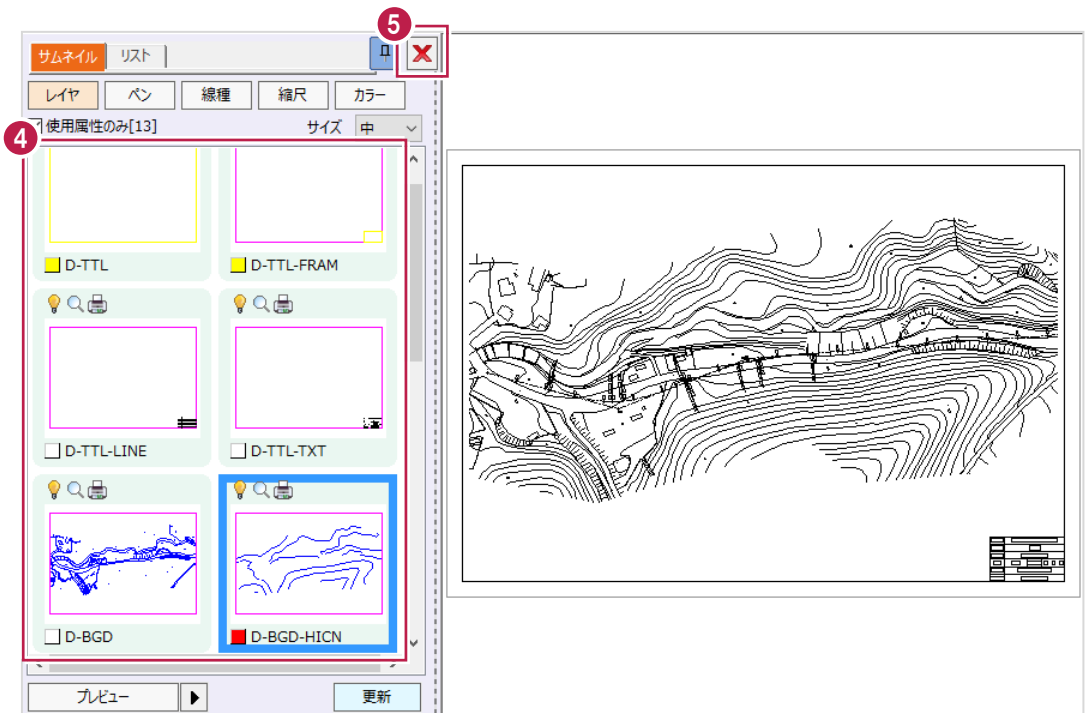


- ③ サムネイル表示のうち、背景が黒いものが「非表示になっているレイヤ」です。

サムネイルをダブルクリックすると、表示されます。



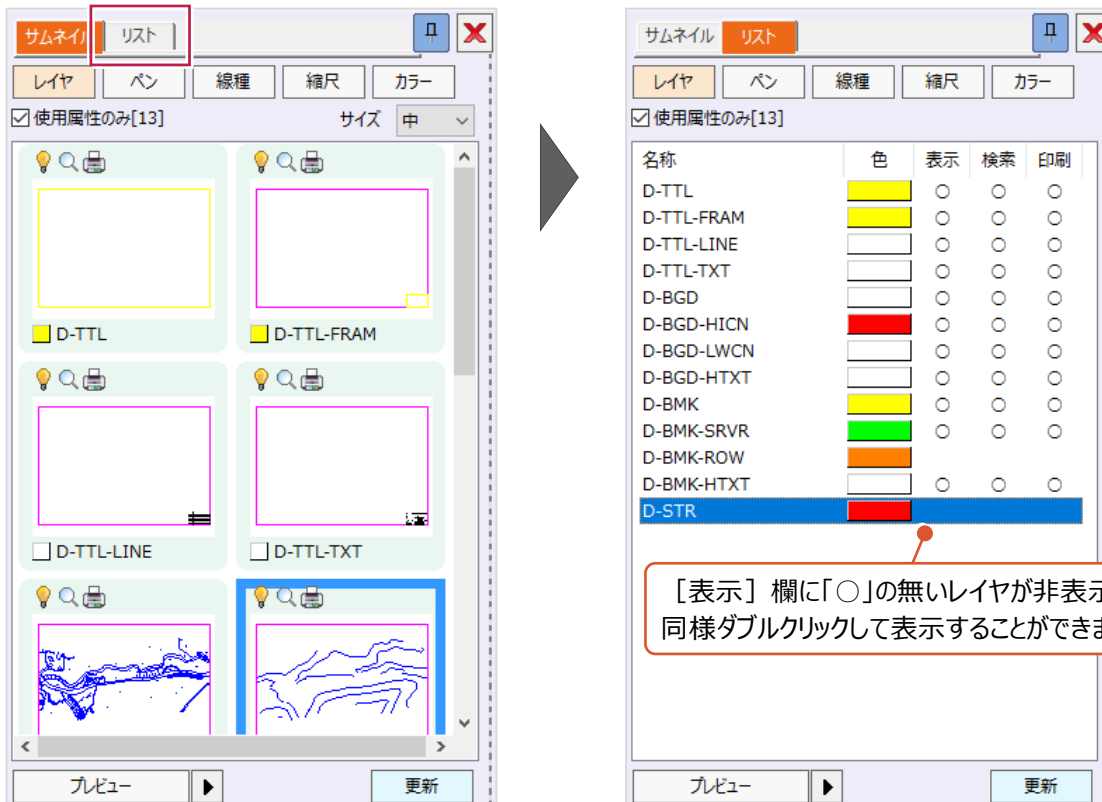
- 4 サムネイルのダブルクリック作業を繰り返し、画面右側の CAD 表示を希望通りの状態にします。
- 5 表示状態が希望通りになったら [X] をクリックして [形状表示] 画面を閉じ、作業を終わります。



補足

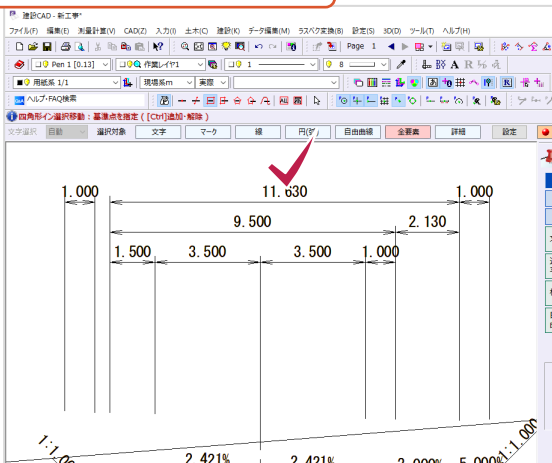
### レイヤをリスト表示するには

レイヤの数が多い場合などは、リスト表示に切り替えたほうが作業しやすい場合があります。

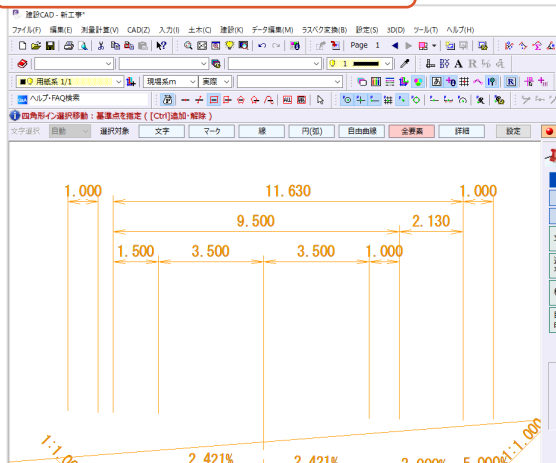


## 6-9 一部だけの選択ができない場合は

文字1つだけ選択したいのに



まわりの文字や線も選択されてしまう

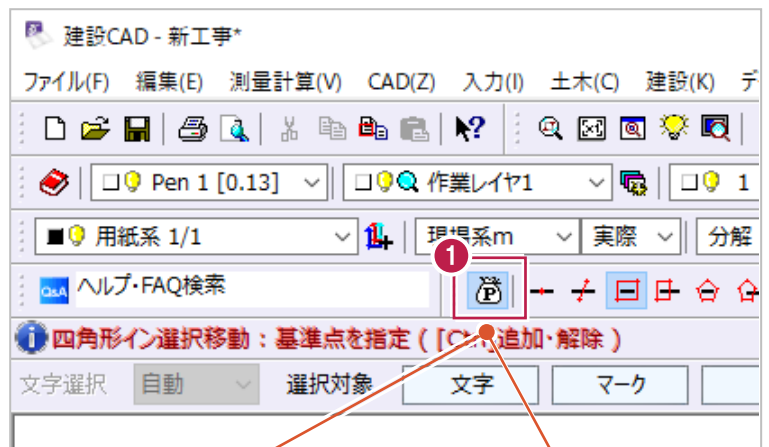



文字や線がグループ化されている可能性があります。  
グループ化には、「パック化」と「部品化」の2種類ありますが、以下の順で操作を試してください。


### ■ (1) 選択モードの「パック指定」をオフにする

「パック化されている要素」を、まとめて選択する・しないの切り替えがあります。  
この切り替えを「しない」(オフ)にすると、「パック化されている要素」にでも、文字や線などを個別に選択できます。  
まずはこの設定を確認してみてください。

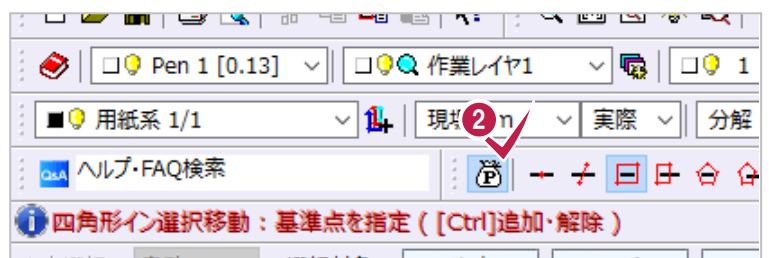
- 1 ツールバー上の  
袋の中にアルファベットの「P」があるアイコンを  
確認します。  
(まず、「パック指定」の設定が  
オン・オフのどちらになっているか確認します。)



 = オンの状態  
パック化された要素を  
まとめて選択する状態です。

 = オフの状態  
パック化された要素を  
まとめて選択しない状態です。

- 2 「1」で確認した設定がオンであった場合、  
アイコンをクリックしてオフにします。  
その後、CAD 上での選択を試みます。  
それでも全体が選択されてしまう場合は、  
(2) 部品を分解する に進みます。



## ■ (2) 「部品化されている要素」を分解する

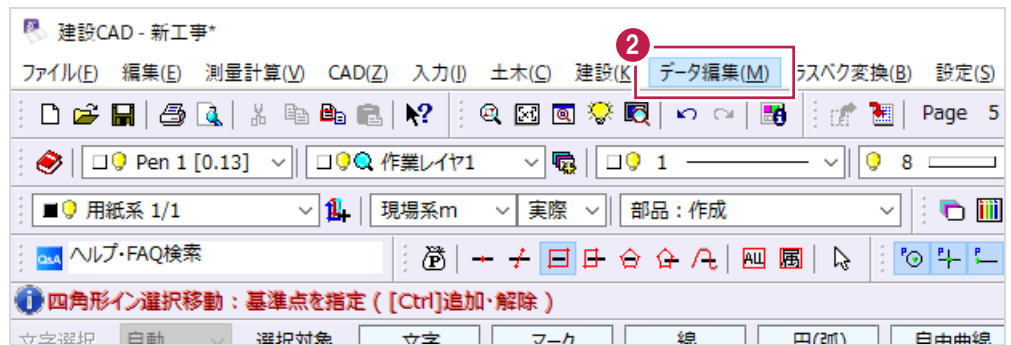
「部品化」は、「パック化」よりも強固なグループ化で、「部品化された要素」は、カラー（色）やレイヤの情報なども固定された状態でグループ化され編集できない状態になります。この状態では、文字や線を個別に選択したり削除したりができないため、分解をおこないます。ここでは「部品化されている要素」すべてを分解する方法を説明します。

- 1 まず、図面上のすべての要素を選択します。

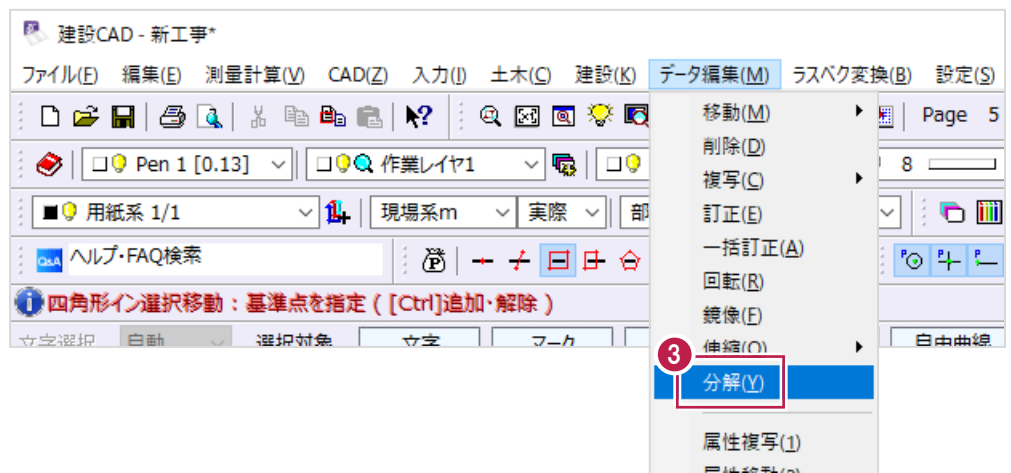
ツールバー上のアルファベットの「ALL」があるアイコンをクリックします。



- 2 画面上の [データ編集] をクリックします。



- 3 表示されるメニューの [分解] をクリックします。





④ [分解対象要素設定] 画面の  
[作図部品] のみチェックボックスを  
オンにします。

⑤ [OK] をクリックします。  
クリック後、文字などが個別に選択できるよう  
になっているか確認します。

要素種類	データ
<input type="checkbox"/> プロットマーク	-
<input type="checkbox"/> 自由曲線	- 分解ピッチ <input type="text" value="1"/>
<input type="checkbox"/> 縦断曲線	- 分解ピッチ <input type="text" value="1"/>
<input type="checkbox"/> クロソイド曲線	- 分解ピッチ <input type="text" value="1"/>
<input type="checkbox"/> 楕円	-
<input type="checkbox"/> 楕円弧	-
<input type="checkbox"/> 寸法線	-
<input type="checkbox"/> 引出線	-
<input type="checkbox"/> ハッチング	-
<input checked="" type="checkbox"/> 作図部品	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 斜面記号	-
<input type="checkbox"/> 連続線	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 特殊線	-

塗演し部分も分解 分解ピッチ

※パンプロッタで出力する際にチェックしてください。

OK キャンセル

[作図部品] 以外は、  
オフにしておきます。

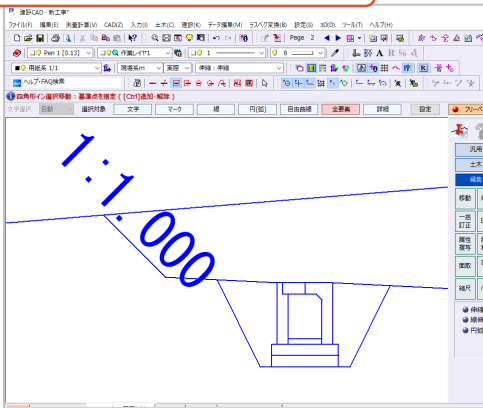
「○」が表示されているものが、  
「CAD上に存在している要素」です。

④

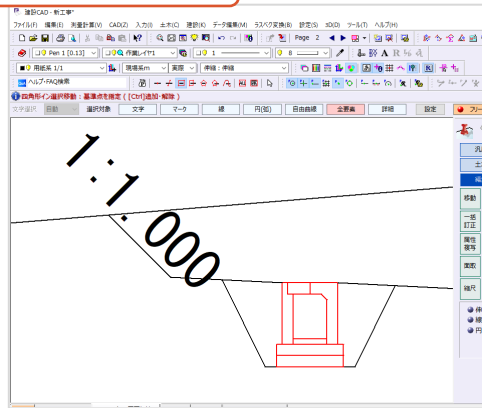
⑤

## 6-10 図面の色が「おかしい」場合は

本来とは違う色で表示されている



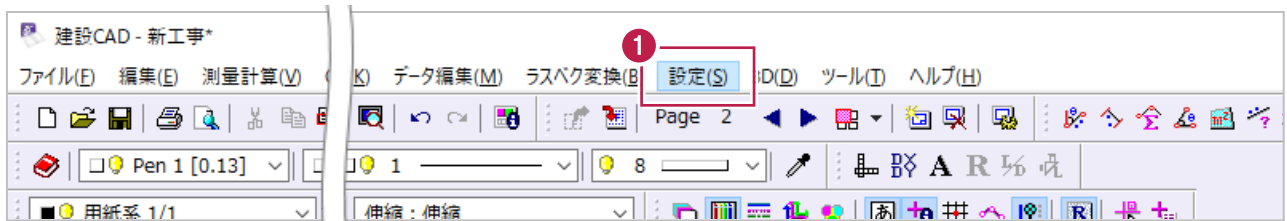
本来の色に戻したい



表示される図面の色が希望と異なる場合は、[表示モード] の設定を確認・変更してください。

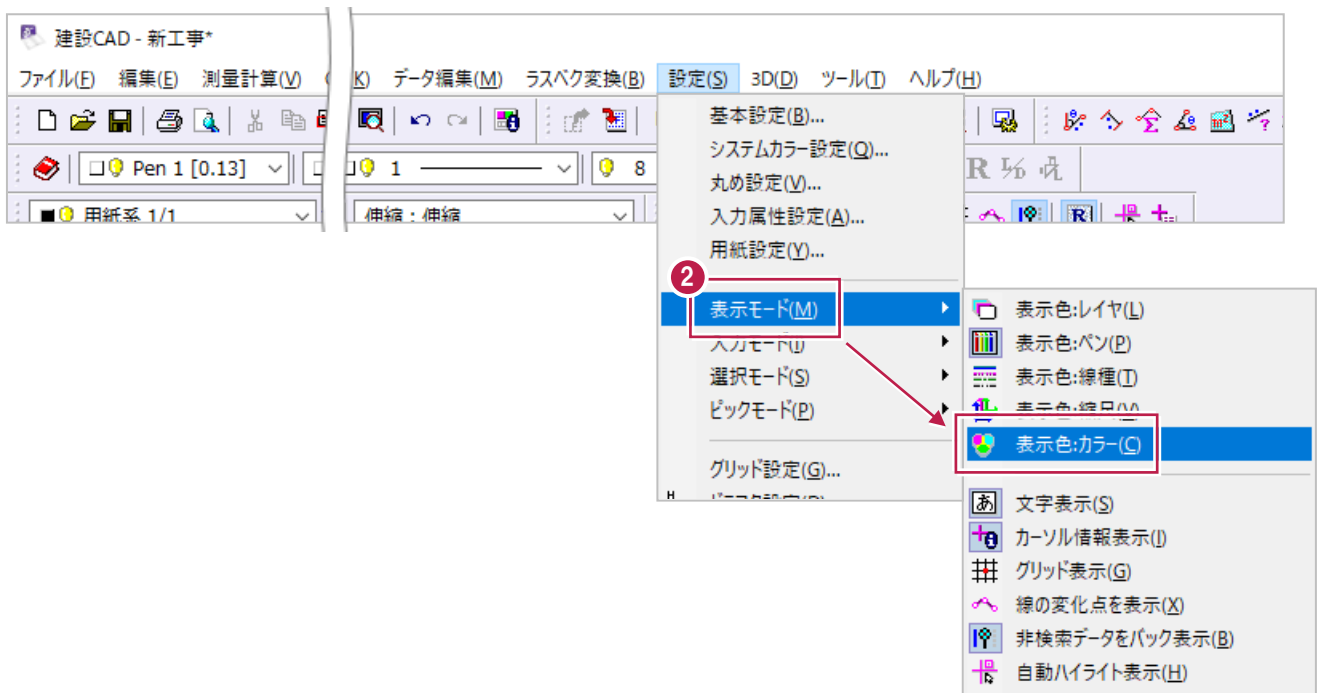
[建設CAD] プログラムには、文字や線の色表示方法が5種類あり、その方法を決めるのが [表示モード] の設定です。ここでは、改善することの多い「カラー」への変更方法を説明します。

- 1 画面上の [設定] をクリックします。



- 2 表示されるメニューの [表示モード]、[表示色：カラー] をクリックします。

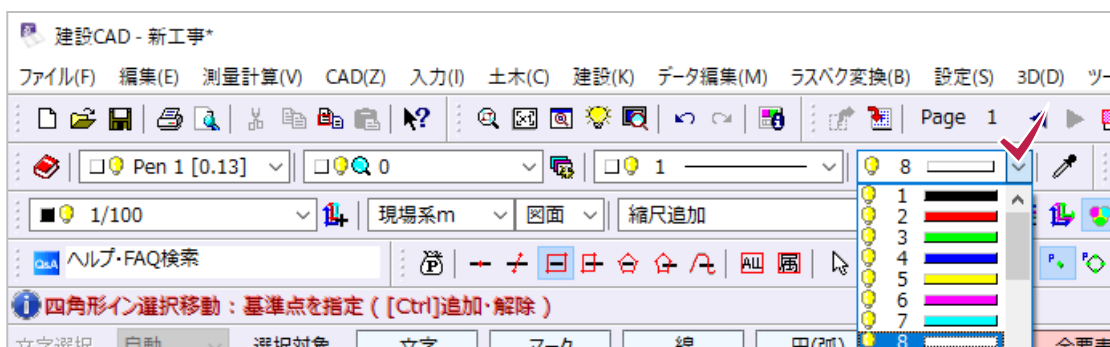
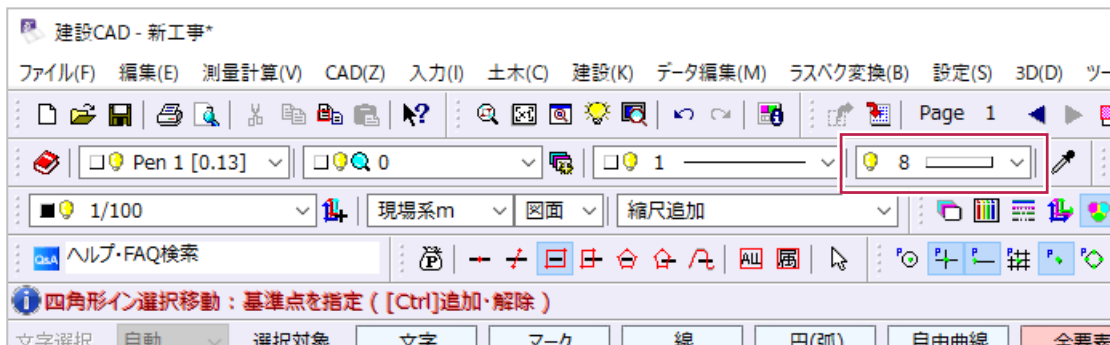
変更作業はこれで終わりです。



## 補足

### 「カラー」について

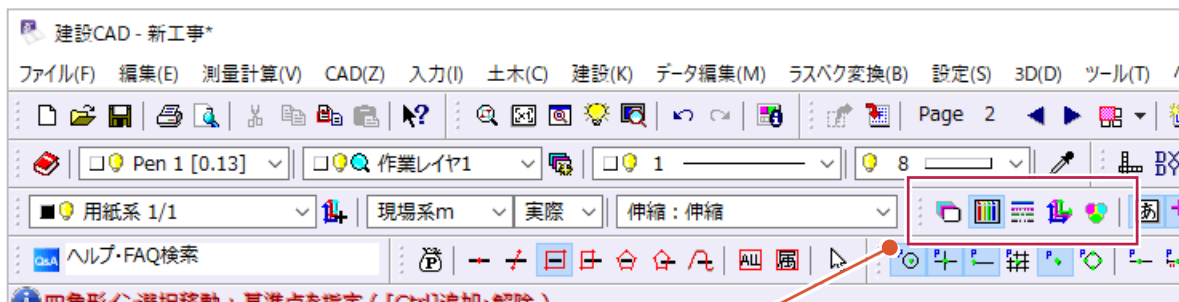
[建設CAD] プログラムでは、線1本1本に対して色を設定することができ、「カラー」と名前が付けられています。ツールバー上に設定・確認するボックスがあります。



## 補足

### 別の変更方法について

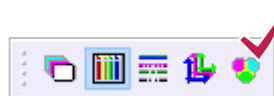
[表示モード] は、ツールバーからも変更できます。(現在どの表示方法になっているかも確認できます。)



現在の表示方法は、背景が薄い水色になっています。  
下記は、左から2番目の[表示色：ペン]が使用されている例です。



アイコンをクリックすると、表示方法を変更できます。

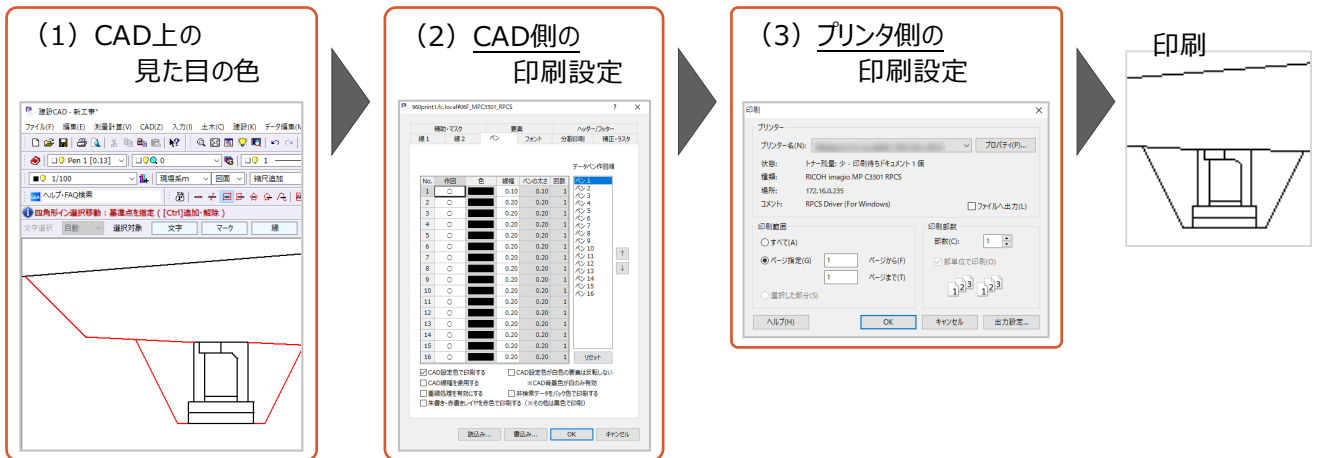


## 印刷時の色について

印刷するときの色は、以下の流れで決まります。

例えば、(2) でカラー印刷設定にしても、(3) でモノクロ印刷設定になっていると、モノクロで印刷されます。

また、(3) でカラー印刷設定にしても、(2) がモノクロ印刷設定になっていると、モノクロで印刷されます。



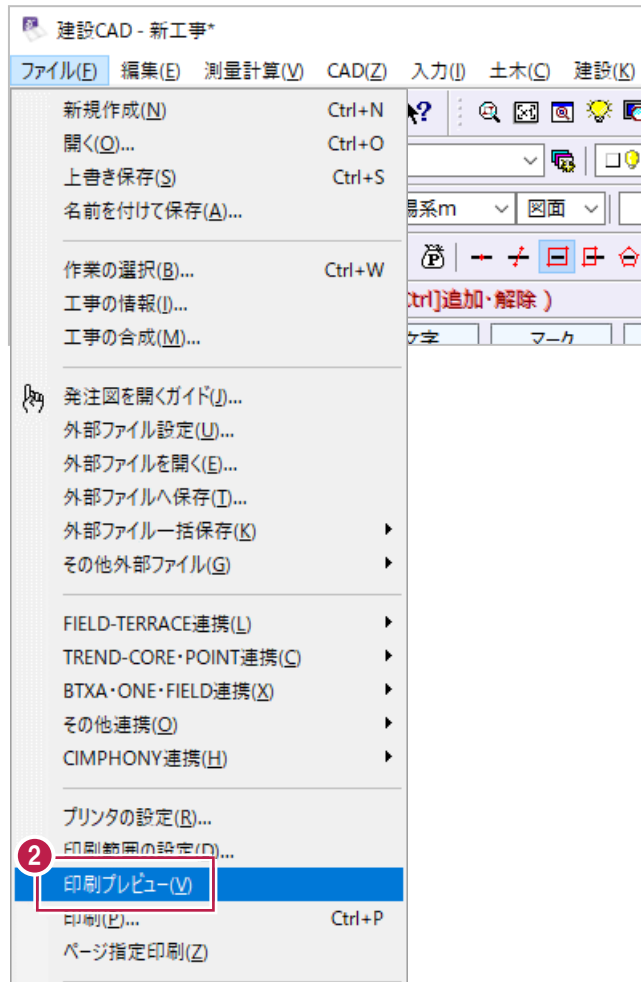
上記 (2) のCAD側の印刷設定方法は以下のとおりです。

- 1 画面上の [ファイル] をクリックします。

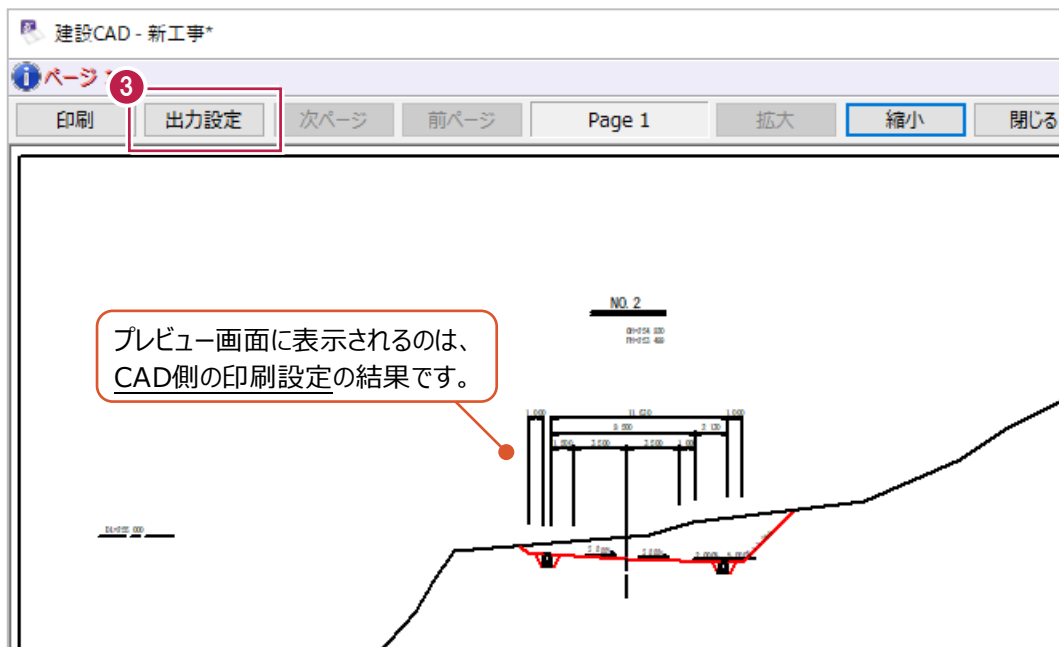


(次ページへ続きます)

- ② 表示されるメニューの  
「印刷プレビュー」をクリックします。

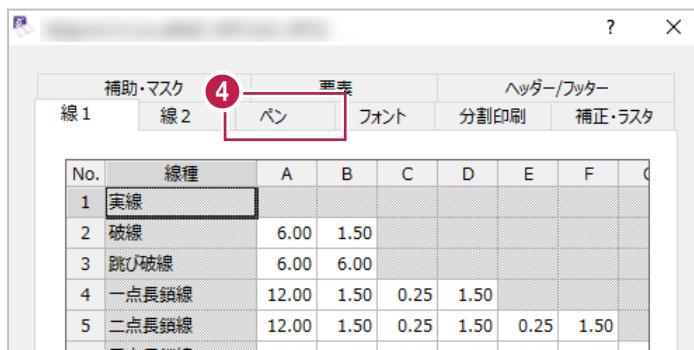


- ③ プレビュー画面左上の  
「出力設定」をクリックします。



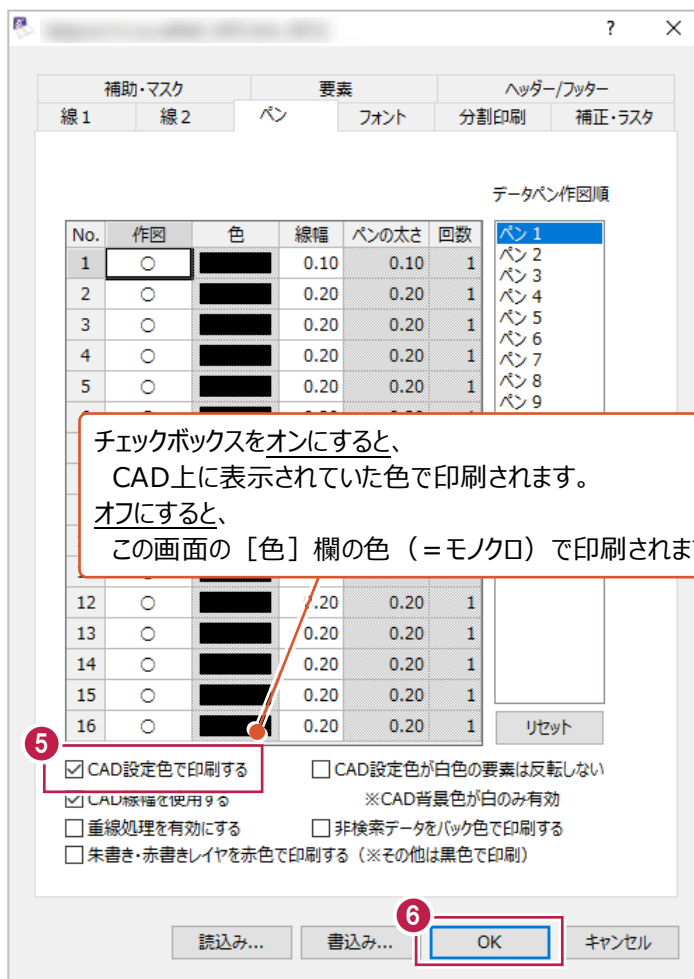
(次ページへ続きます)

4 [ペン] タブをクリックします。



5 [CAD 設定色で印刷する] の  
チェックボックスを確認・変更します。

6 設定が終わったら [OK] をクリックします。  
設定作業はこれで終わりです。  
プレビュー画面が更新されます。

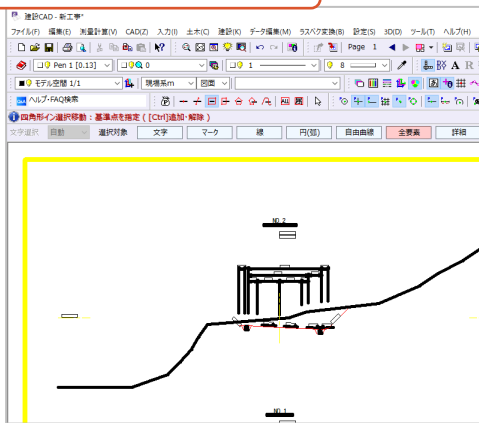


なお、この設定は [建設CAD] プログラム本体に保存されるため  
変更した内容は、どのデータ (図面) を開いても反映されています。

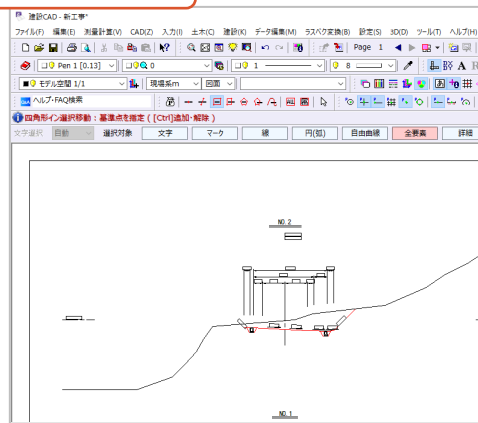
また、CAD側ではカラー印刷を、プリンタ側でモノクロ印刷を設定した場合、  
プリンタ側では水色や黄色などを、白黒の濃淡で表現するため、結果的に薄い灰色で印刷されます。

## 6-11 線が太く表示された場合は

線が太く表示されてみづらい

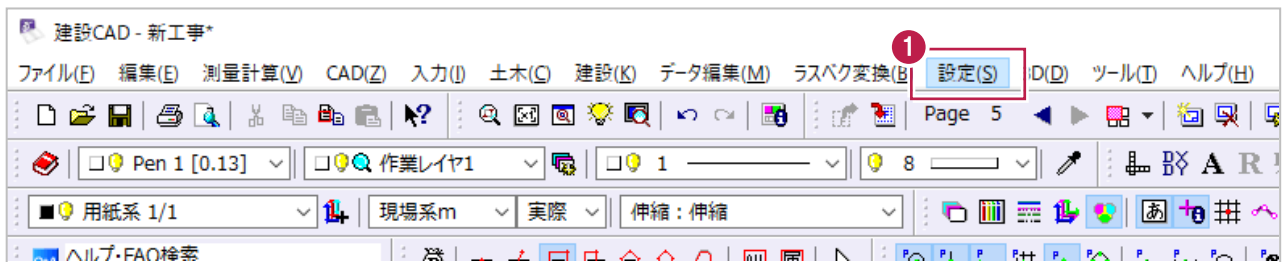


細く表示したい

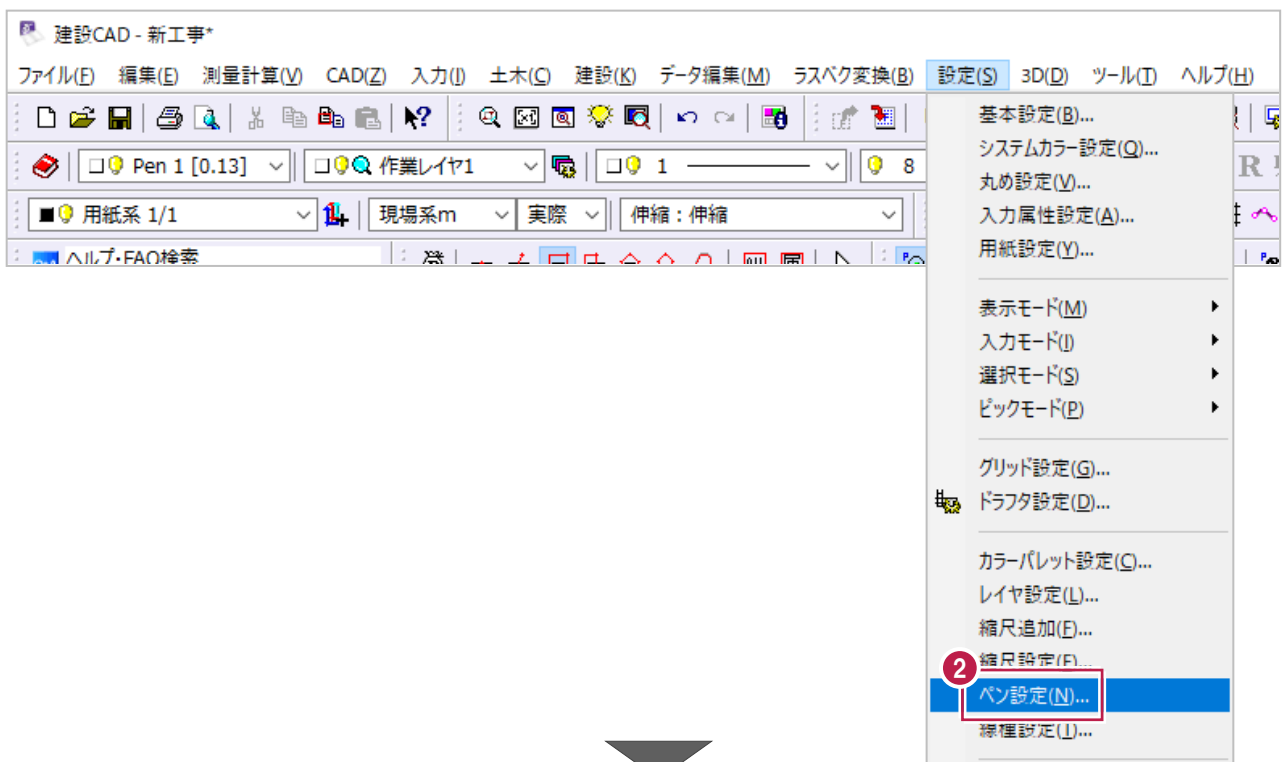


[建設CAD] に「太い線」を太いまま表示するか、作図しやすいように細く表示するかの設定があります。ここでは、太く表示されている線を、細く表示する方法について説明します。

- 1 画面上の [設定] をクリックします。



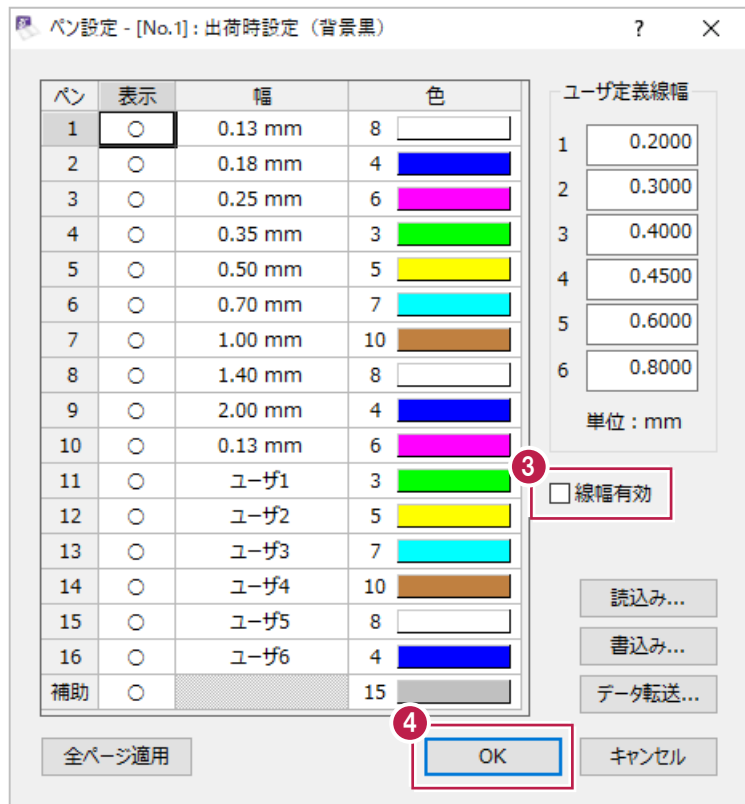
- 2 表示されるメニューの [ペン設定] をクリックします。



③ 画面右側の「線幅有効」をオフにします。

④ 「OK」をクリックします。

CAD 上の線が細く表示されるようになります。  
設定作業はこれで終わりです。



## 補足

### 「線幅」(太さ) について

[建設CAD] プログラムでは、線1本1本に対して「線幅」を設定することができ、「ペン (Pen)」と名前が付けられています。ツールバー上に設定・確認するボックスがあり、括弧の中の数字が線幅を表しています。(例えば、[0.13] は「0.13mmの太さ」の線という意味です。)

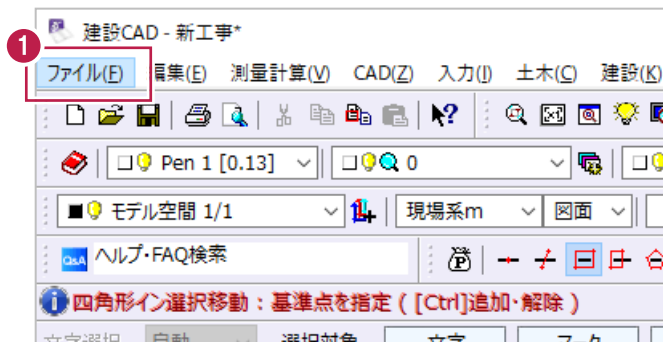


## 補足

### 印刷時の線の幅 (太さ) について

印刷時の線幅については、[出力設定] 画面からおこないます。( [ペン設定] 画面とは別画面です。)  
[出力設定] 画面の表示・使用方法は以下のとおりです。

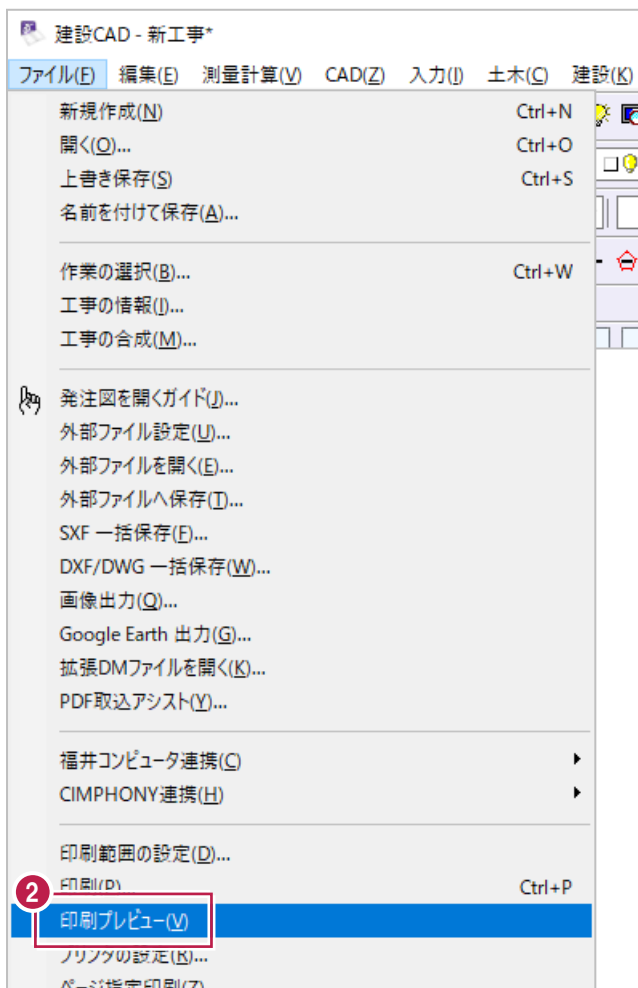
① 画面上の「ファイル」をクリックします。



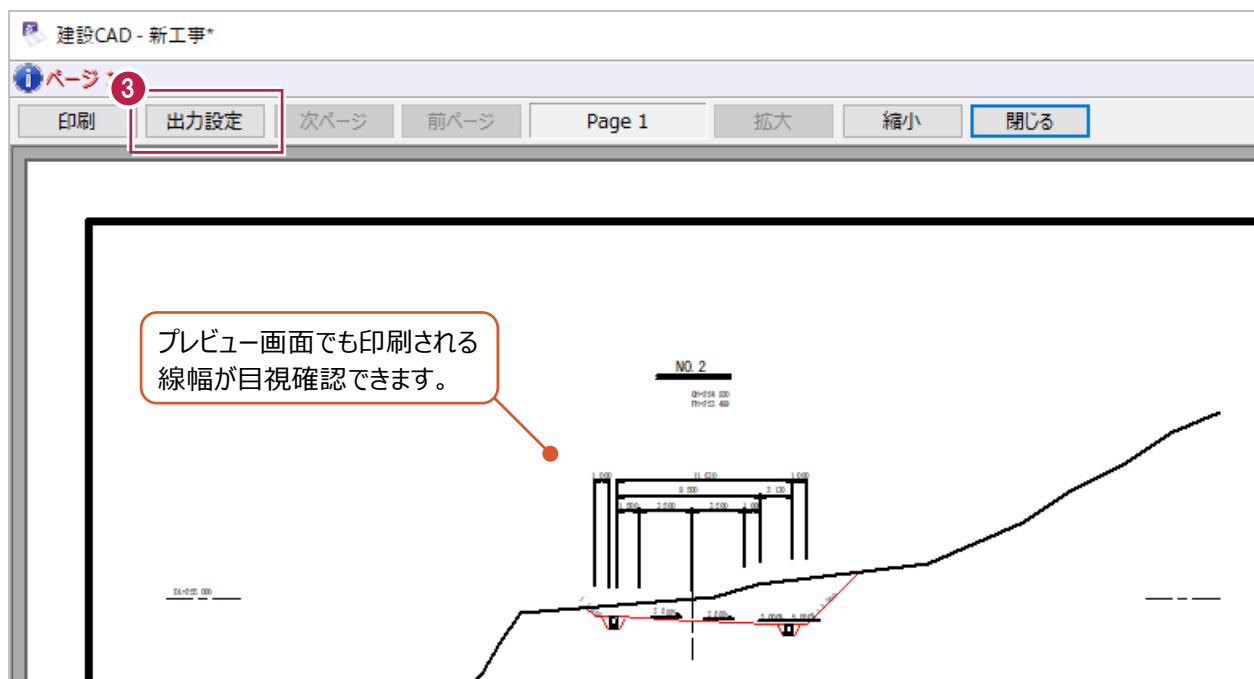
(次ページへ続きます)



- ② 表示されるメニューの  
[印刷プレビュー] をクリックします。

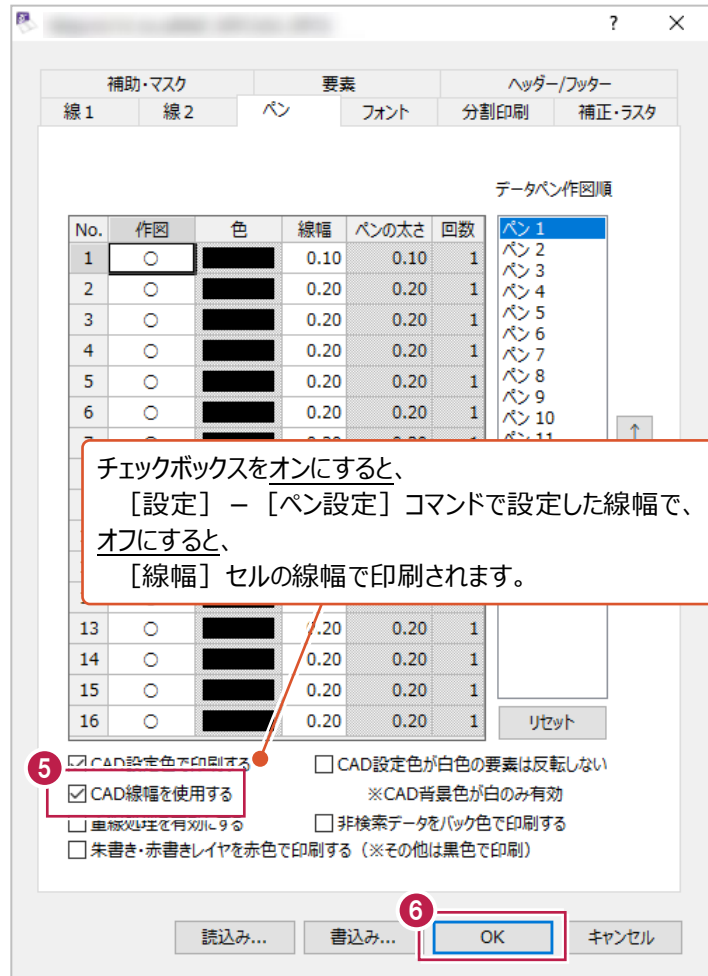
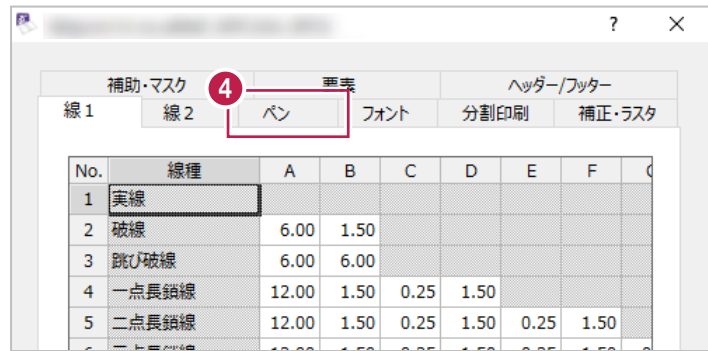


- ③ プレビュー画面左上の  
[出力設定] をクリックします。



(次ページへ続きます)

④ [ペン] タブをクリックします。



⑤ [CAD線幅を使用する] のチェックボックスを確認・変更します。

⑥ 設定が終わったら [OK] をクリックします。

設定作業はこれで終わりです。

プレビュー画面が更新されます。

なお、この設定は [建設CAD] プログラム本体に保存されるため  
変更した内容は、どのデータ (図面) を開いても反映されています。

## 6-12 メールで図面を送るには

メール送信先の方が同じ【建設CAD】プログラムをお使いの場合は、  
【名前を付けて保存】後に作成される拡張子が「.MSS」のデータを送信すれば、先方はダブルクリックで開くことができます。

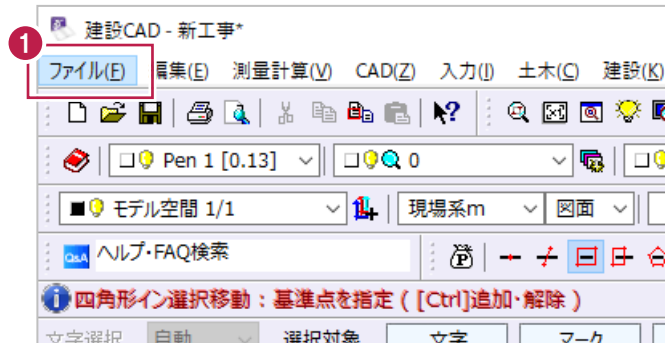
メール送信先の方が【建設CAD】プログラム以外をお使いの場合は、「.MSS」データを開くことができないため、  
拡張子が別の「.sfc」データや「.dxf」データなど、別種類のデータを送信する必要があります。

どの種類のデータを送信すれば良いかはメール送信先の方に直接確認してください。

(不明な場合は、各メーカーの大半が対応している「.sfc」形式をおすすめします。)

以下は「.sfc」への変換方法です。

① 画面上の【ファイル】をクリックします。



② 表示されるメニューの  
【外部ファイルへ保存】をクリックします。



「外部ファイル」とは、  
『【建設CAD】固有の「.MSS」データ』以外の  
ファイル全般を指します。

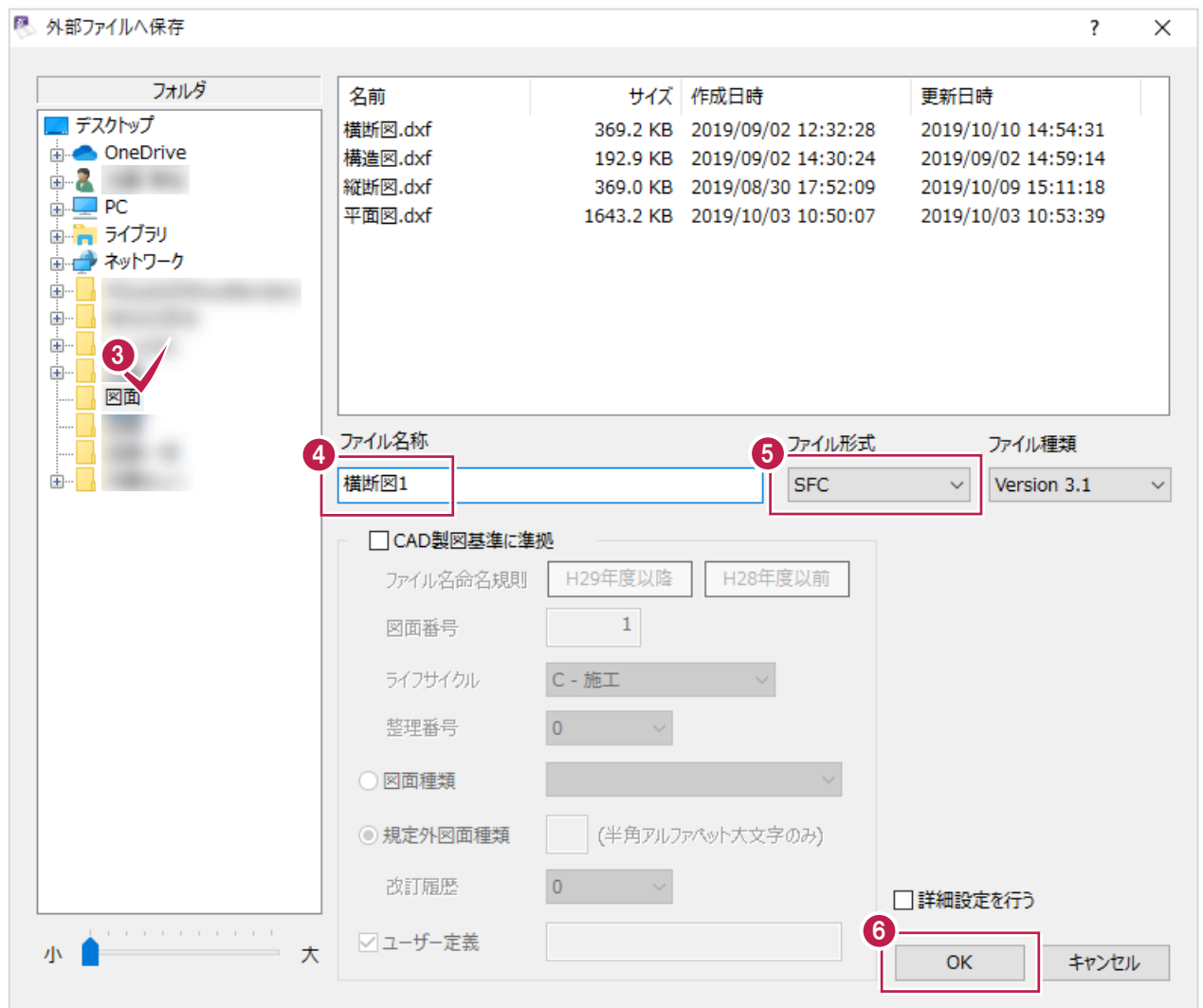
③ 図面データの保存先をクリックします。

④ 図面データのファイル名称を入力します。

名称はわかりやすい日本語のもので構いません。

⑤ [ファイル形式] 欄から  
[SFC] を選択します。

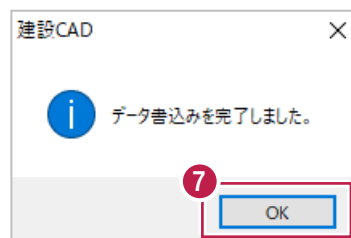
⑥ [OK] をクリックします。



⑦ [OK] をクリックします。

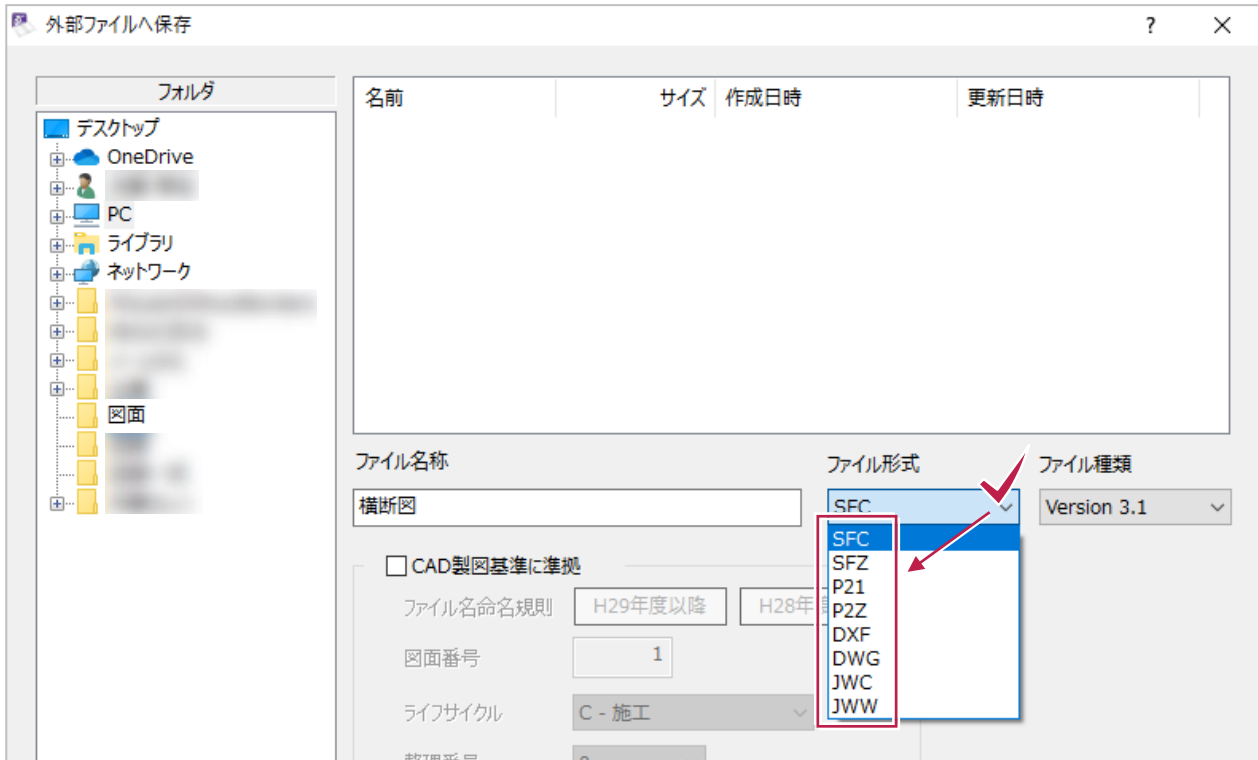
「③」で指定した保存先に  
ファイルができているか確認します。

操作はこれで終わりです。



## 「外部ファイル」について

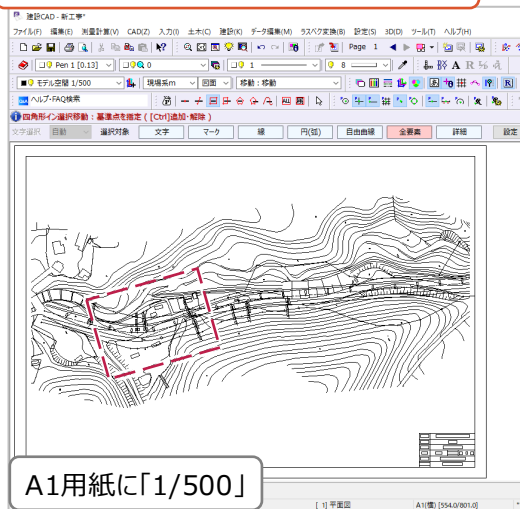
保存時に選択できるデータ形式の概要は以下のとおりです。



ファイル形式	概要	補足
SFC	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なるCADプログラムとのやりとりする際の標準形式</li> <li>電子納品成果の形式として指定されることが多い</li> <li>「P21」は国際規格、「SFC」は日本独自の形式で、「SFC」のほうがデータ量が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像付きの図面の場合は複数ファイルになる</li> </ul>
SFZ		<ul style="list-style-type: none"> <li>画像付きの図面の場合でも1ファイルになる</li> </ul>
P21		<ul style="list-style-type: none"> <li>画像付きの図面の場合は複数ファイルになる</li> </ul>
P2Z		<ul style="list-style-type: none"> <li>画像付きの図面の場合でも1ファイルになる</li> </ul>
DXF	<ul style="list-style-type: none"> <li>AUTODESK社製のプログラム [AUTO-CAD] 独自の形式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バージョンの異なる [AUTO-CAD] でも互換性をもたせるために作られた形式</li> </ul>
DWG		<ul style="list-style-type: none"> <li>[AUTO-CAD] で通常保存する場合の形式</li> </ul>
JWC	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットからダウンロードできるフリーのプログラム [Jw_cad] 独自の形式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DOS版時代の保存形式</li> </ul>
JWW		<ul style="list-style-type: none"> <li>[Jw_cad] で通常保存する場合の形式</li> </ul>

## 6-13 図面を分割するには（拡大印刷するには）

読み込んだ図面の一部（点線）を



別ページに抜き出したい

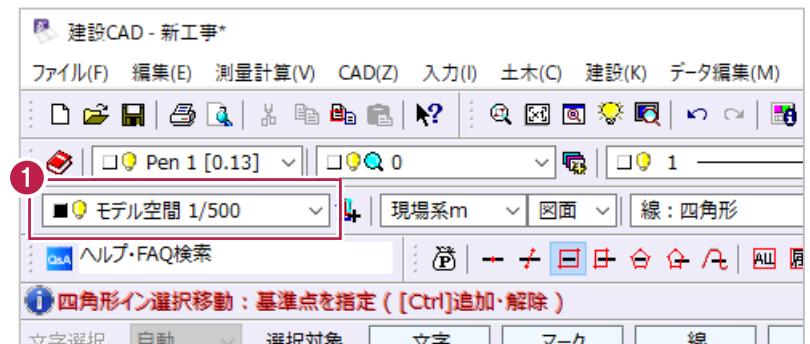


ここでは、表示されている図面の一部を別ページに分割する方法を説明します。（元の全体の図面はそのまま残ります。）  
分割時に縮尺変更もできるため、「図面の一部を拡大印刷したい」場合にも使用できます。

（図面全体を縮尺変更したり、印刷範囲を設定したりする方法でも拡大印刷できますが、こちらの方が簡単です。）

- 1 ツールバー上に表示されている「縮尺」が、現状の図面の縮尺になっていることを確認します。

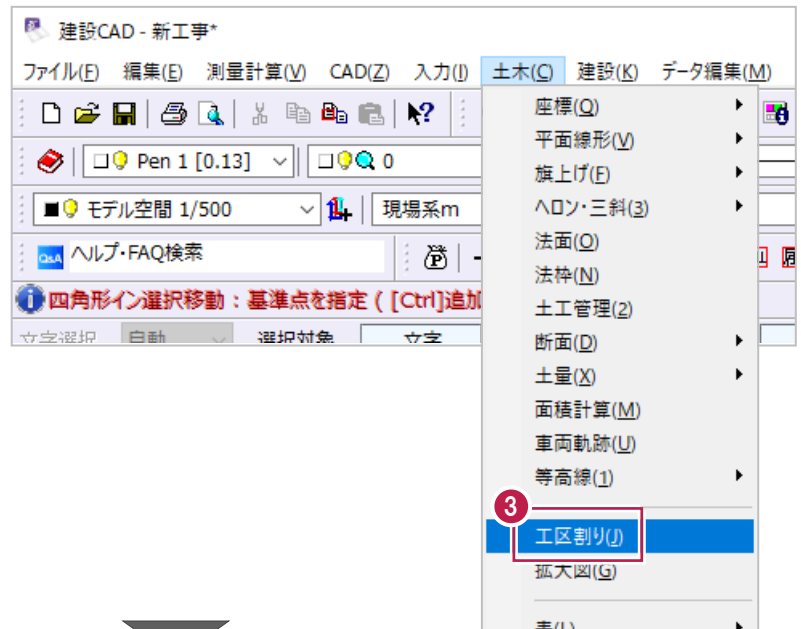
異なっていた場合は切り替えます。



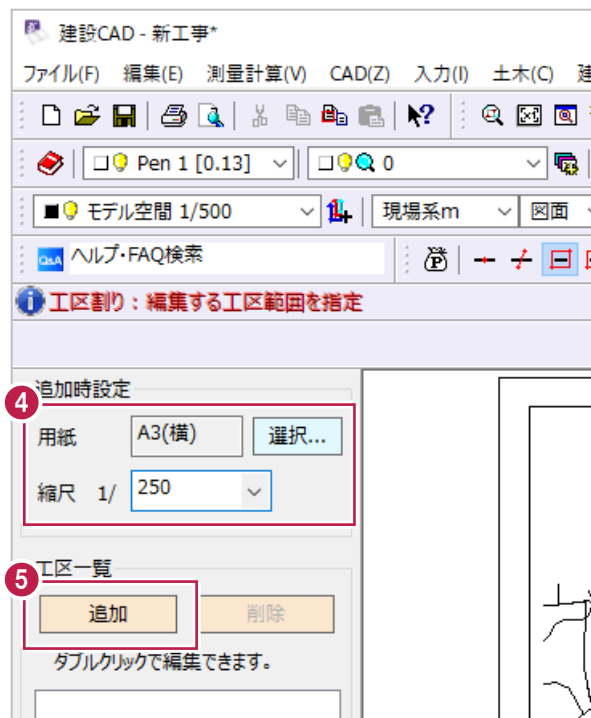
- 2 画面上の【土木】をクリックします。



- ③ 表示されるメニューの  
[工区割り] をクリックします。  
画面左にガイドバーが表示されます。



- ④ 分割（抜き出し）後の  
用紙サイズと縮尺を設定します。
- ⑤ [追加] をクリックします。



⑥ 抜き出す部分を指定します。

まず、範囲（用紙枠）の左下をクリックします。

希望の範囲がおさまらない場合は用紙サイズと縮尺を変更します。



⑦ 次に、傾きを指定します。

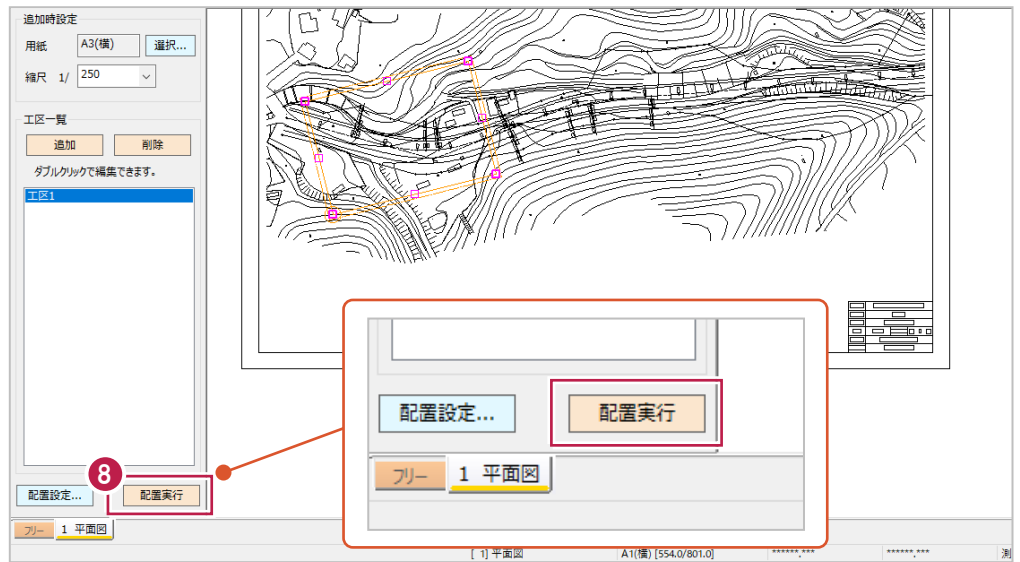


続けて別の範囲を抜き出す場合は、「④」からの操作を繰り返します。

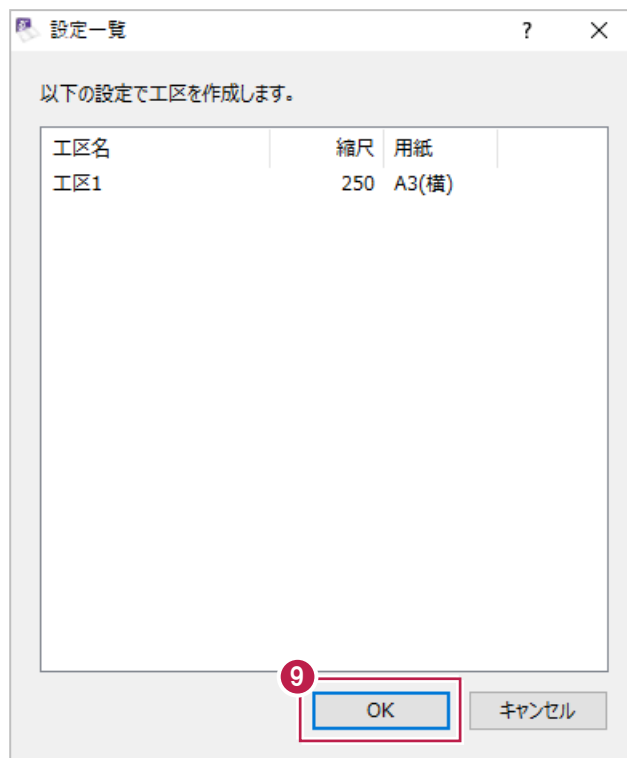




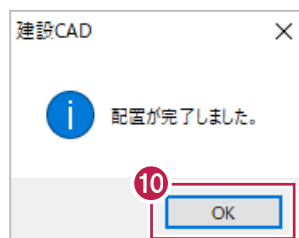
8 [配置実行] を  
クリックします。



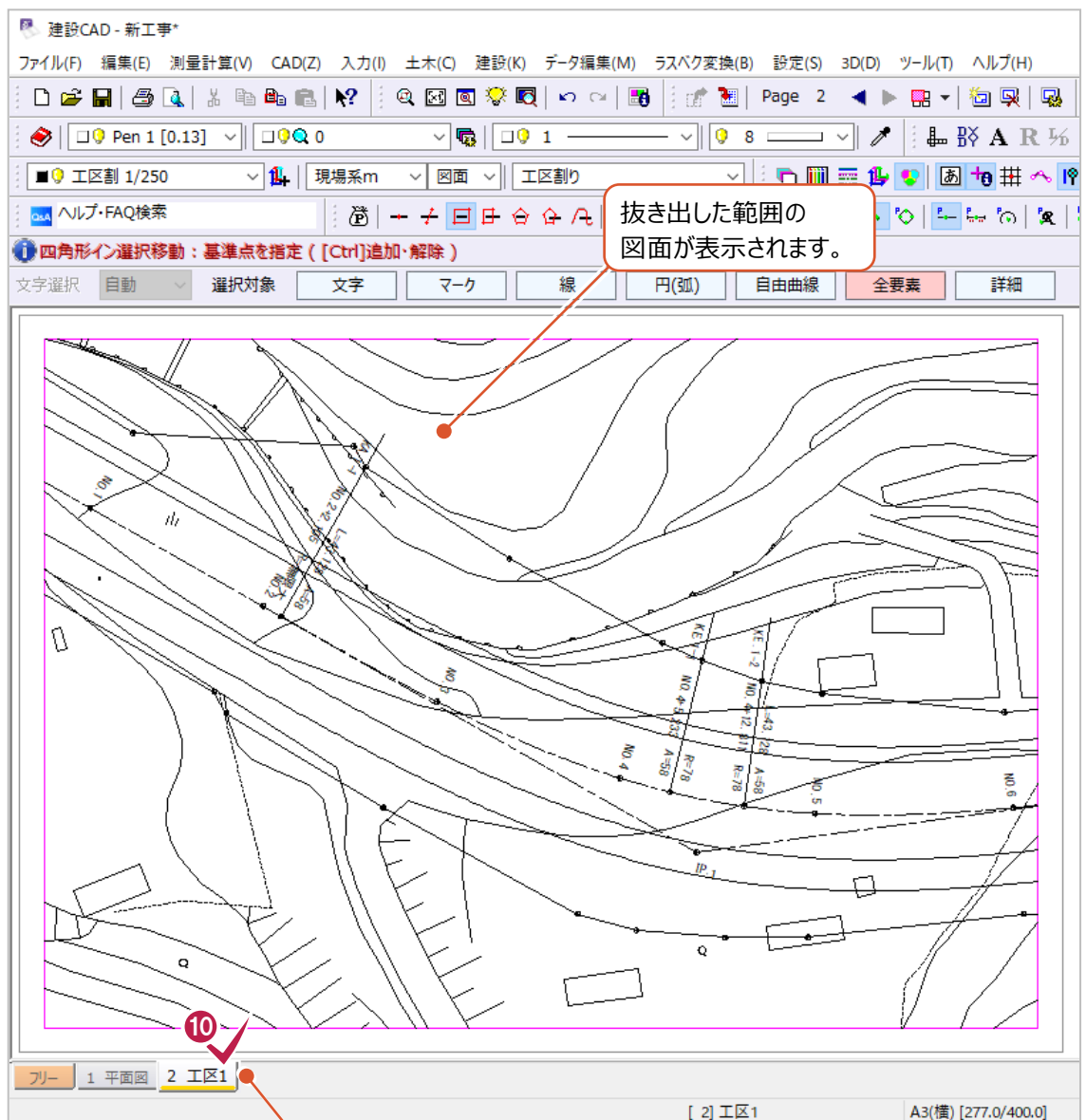
9 [OK] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。  
別ページが追加され、  
指定した範囲の図面が作成されます。

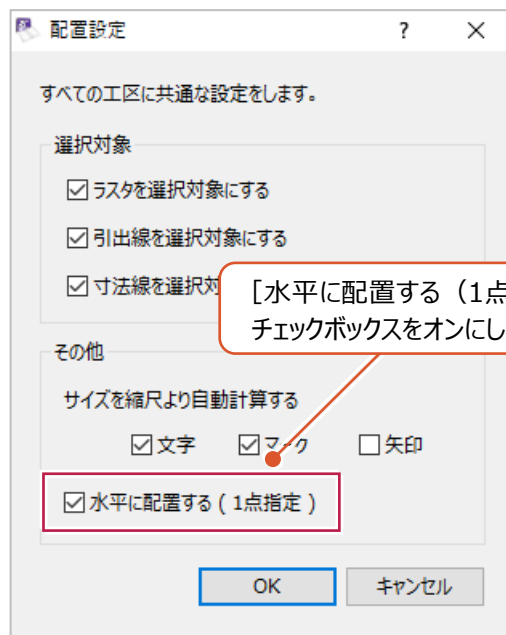


- 11 追加されたページに切り替え、  
内容を確認します。



### 「抜き出す範囲」を水平にするには

画面左下の「配置設定」から水平固定に設定できます。



設定後は、左クリック1度で範囲を指定します。

